

複合型中心拠点誘導施設
基本計画素案 資料編

内容

資料 1	市民説明会での意見・要望に対する市の考え方	1
資料 2	市民説明会アンケートでの意見・要望に対する市の考え方	18
資料 3	市民の声を届ける要望書に対する市の考え方	34
資料 4	小諸市市民活動・ボランティアサポートセンターに関する 要望に対する市の考え方	45
資料 5	中心市街地整備についての提案書に対する市の考え方 ...	46
資料 6	糠塚園利用者アンケートでの主な意見・要望に対する市の 考え方.....	47
資料 7	「複合型中心拠点誘導施設」整備構想の再考を求める会の 要望書に対する市の考え方.....	49

資料 1 市民説明会での意見・要望に対する市の考え方

1 整備構想 意見・要望	市の考え方（回答）
<p>(1) 計画を早急に進めていってほしい。「多極ネットワーク型コンパクトシティ」がわかりづらいため、丁寧な説明を引き続き実施して行ってほしい。タイミングを逸しないように進めていってほしい。(中央 中部地区)</p>	<p>基本計画の策定あたりでは、市民説明会等でもいただいた意見や要望を、可能な限り反映するよう努めます。また、基本計画（素案）の説明の際には丁寧な説明と、その後のスピード感のある対応にも心がけます。</p>
<p>(2) 市民に説明し、理解してもらい、欲を言えば協力してもらいながら進めていくことが大事であると思う。今後も何事においてもこのように市民の意見を聞いてほしい。やはり市民協働により進めてもらいたい。私の周りの人はこの話をほとんど知らない。ぜひこれを機会にしっかり説明してもらいたい。市民全員が賛成なら、問題にすることもない。計画を見ていると、整備ありきで進んでいるようにしか見受けられなかった。ぜひそのあたりをこれからも続けていってほしい。(北大井地区)</p>	<p>「まちづくり」の意思決定において、市民の皆様をはじめ、関係者の方々のご意見をお聞きした上で、可能な限り、事業に反映していくということは、大変重要なことだと考えております。市民の皆様からいただくご意見には、様々な考え方があることから、全てを反映させることができませんが、そうしたご意見も、しっかりと受け止めた上で、その都度、精査していくことが必要であると認識しています。</p>
<p>(3) 市中心部の活性化の話が出ているが、市長の公約にもあった、市の中山間地の施策というのが今後の大型事業等についても一切出していない。農業の後継者が少なくなっていることを今後どうしていくのか。そういう点を踏まえて今回の整備構想があるならいいと思うが、そのあたりの見解をお聞きしたい。(北大井地区)</p>	<p>農業は小諸市の基幹産業ですが、ほ場の傾斜がきつく、面積も小規模なうえ中山間地という立地条件に恵まれていない状況もあり、農家数の減少、農業従事者の高齢化、後継者・担い手不足、遊休荒廃地の増大などが問題となっています。農業が儲かる産業となり夢が持てるようにならないと、後継者や新規参入者等の担い手は育たないことから、小諸市総合計画第10次基本計画では、「担い手の農業研修については農業大学校と十分な連携を図るとともに、農産物の付加価値を高めるブランド化や6次産業化などを推進し、生産するだけでなく「どう売るか」という商業的な視点も十分に取り入れながら儲かる農業をめざす。」また、「既に生産物の販路が確立された地区においては、農業の生産性をさらに向上させ、儲かり続ける農業をめざす。」こととしています。</p>
<p>(4) 市の周辺地域が豊かになることにより、その消費エリアとして中心市街地があると思う。地域の活性化構想も検討したらどうか。「将</p>	<p>第5次基本構想の中の「地域別まちづくり方針」として、地域の皆様が主体的に関わって、「めざす地域の姿」を策定いただきました。今後は、</p>

<p>来的な市内各地の生活拠点の集約化」とは何か教えてほしい。(北大井地区)</p>	<p>この方針に沿って、地域が元気になることについて、地域の皆様と協働により進めていきたいと考えています。</p> <p>その上で、各地域の特色を活かした「利便性の高いまちづくり」を実現するため、各地域を結び公共交通を充実させることにより、各地域の「生活拠点」と利便性の高いまちを形成する「中心拠点(中心市街地)」のネットワーク化を図る「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の推進を図ります。</p>
<p>(5) 西部地区・西小諸地区が非常に停滞している。こうした中、税の公平化という点からどのように今後活性化をしてもらえるのか。また、東西線について何もせず、なぜ中心市街地の活性化を進めるのか。(西小諸・大里地区)</p>	<p>行政サービスは、地域の課題解決に資することを観点に実施しています。今後もこのような観点で必要な事業を実施します。</p> <p>東西線については、現在、休止状態となっておりますが、周辺の土地利用を含め、今後の事業の具体的な方向性を、関係する地域の役員の皆さんと協議し進めてまいります。</p>
<p>(6) このまま人口が減っていけば、施設を作る必要がないのではないか。また、高齢者だけが増えても困る。若者を増やす政策はどうなっているのか。(南大井地区)</p>	<p>子育て支援、就労対策等により、若者が定着する魅力ある都市づくりを進めます。具体的には、東南部を中心とした宅地開発支援事業により若者が家を持ちやすい環境を整備します。移住定住促進事業や空き家バンクを活用し、移住者や一旦は都心に出た若者を小諸へ呼び込みます。魅力ある企業の誘致により雇用の場を確保します。</p> <p>現在の高齢者福祉センター「糠塚園」は、年間延べ2万人の方が利用されていますが、昭和48年1月の開設から45年が経過し、老朽化による施設整備の課題を抱えています。少子・高齢化が進むなかで、高齢者福祉センターは、高齢者の社会参加や生きがいづくりの拠点として、今後も必要性の高い施設であると捉えています。そのため、よりメリットが大きく、多くの方にとって利用しやすい中心市街地へ、多極ネットワーク型コンパクトシティの理念のもと、施設の整備を目指します。</p>
<p>(7) 2月の初旬に初めて、信毎の新聞と市議会のある会の会報から工事費29億円の情報を得</p>	<p>事前の説明については、市庁舎周辺の土地利用について、以前より、関係する法人の皆さん</p>

<p>た。議会に予算が通った後に広報が出た。市民全体に必要な整備だというのであれば、もっと事前に説明があってしかるべき。ツルヤありきにしか見えない。他の公共施設を整備するのが取ってつけたようだ。コンパクトシティは全国的に進められているが、調べてみると成功事例がほとんどない。それを踏まえて、29億円という事業費に対してどのような費用対効果が算定されているのか。(南大井地区)</p>	<p>と意見交換を行っており、市としては、老朽化などの課題がある福祉施設の中心市街地への集約を検討し、関係する法人の皆さんからは、集客力の高いスーパーマーケットの営業のためには一定規模の用地が必要であることなどのご意見をいただいております。</p> <p>そこで、法人を主体とした様々な地権者が複雑に関係し合う中心市街地であることから、市が中心となって一体的に働きかけることで、用地の確保や事業化の促進を図ってまいりました。</p> <p>その中で、構想の策定にあたっては、関係する法人の皆さんとの協議を先行させていただいたところです。</p> <p>市民の皆様の声は、構想素案を示してから可能な限りお聞きするようにはしました。施設計画素案についてもできるだけ丁寧な説明に努めます。</p> <p>効果の部分は、数値としての算定はできませんが、都市の利便性や、魅力は間違いなく向上するものと考えます。この施設は、少子高齢化や生産年齢人口の減少が加速する中で、これからの小諸市の10年・20年先を見据えた時に必要な施設であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものと考えます。</p>
<p>(8) 費用対効果が明確な数値となっていないのは、計画自体が危ういのではないかと。調べたコンパクトシティの失敗事例の典型的なものである。市の公共交通では、何人が中心部へ行く想定をしているのか。(南大井地区)</p>	<p>この施設は、少子高齢化や生産年齢人口の減少が加速する中で、これからの小諸市の10年・20年先を見据えた時に必要な施設であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものと考えますので、計画的に、また、着実に整備を進めます。</p> <p>また、市の公共交通である「こもろ愛のりくん」の利用者は平成29年度では51,000人おり、一番多いのは中央東部で約15,000人、次いで南大井、川辺で約10,000人、北大井や西小諸でも約7,000から8,000人の方にご利用いただいております。今後、高齢化の進展により、さらに公共交通の必要性が高まることが考えられます。</p>

<p>(9) 南大井は市内でも人口が増えている場所となっており、ホクトなどの企業進出もあるので今後も人口増加が見込まれる。そのような中で、国道 141 沿いの都市計画の見直しを同時に進めていくべきではないか。佐久市側から開発が進んでいる。(南大井地区)</p>	<p>ご指摘のとおり、南大井では人口が増加しており、発展の可能性が大きい地域であると認識しているため、市としても東南部開発などの事業を進めております。</p> <p>このような中で、地元地域でも佐久平駅アクセス道路新設整備推進協議会が発足しました。同協議会とも連携しつつ、発展の状況に応じて、しかるべき時期に、都市計画の見直しを考えていきます。</p>
<p>(10) 中心市街地だけではなく、周辺の村部にもお金をかけて欲しい。相生町だけが小諸ではない。(南大井地区)</p>	<p>公費の投資は、金額ではなく、地域の課題解決に資することを観点に実施しています。郊外への投資もこのような観点で実施しています。これまで、農道や用水路整備の土地改良事業、中山間地域農業直接払交付金等において、周辺部の事業を実施しています。また、各地域の生活道路の維持管理にも傾注してまいります。</p>
<p>(11) コンパクトシティの必要性は理解できたが、“ネットワーク”について教えてほしい。(三岡地区)</p>	<p>小諸駅や市役所、病院、金融機関など利便性の高い中心市街地と各地区を公共交通で結ぶこと(ネットワークの構築)で、一回の外出で用事が足りる等、周辺地域に居住する皆さんにも利便性を実感していただける取り組みを進めていきます。</p>
<p>(12) 今回の事業をなぜ行わなければならないのかわからない。市街地から外れた生活道路の修繕が行われない。市街地の外にも目を向けて欲しい。(中央 東南部地区)</p>	<p>この施設は、少子高齢化や生産年齢人口の減少が加速する中で、これからの小諸市の 10 年・20 年先を見据えた時に必要な施設であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものと考えますので、計画的に、また、着実に整備を進めます。</p> <p>小諸駅や市役所、病院、金融機関など利便性の高い中心市街地と各地区を公共交通で結ぶこと(ネットワークの構築)で、一回の外出で用事が足りる等、周辺地域に居住する皆さんにも利便性を実感していただける取り組みを進めます。</p> <p>郊外におきましては、東南部を中心とした宅地開発支援事業を実施しています。なお、新たな産業団地の造成に向けた検討も行っています。合わせて、各地域の生活道路の維持管理に</p>

<p>(13) 反対の署名活動について市長の考えを聞きたい。市民説明会をもっと早く開催できなかった理由はなぜか。説明会の最中である3月議会で予算計上もされ、議会での決定も行われており、市で決定しすすめられていってしまっている印象を受けている。説明会で出た反対意見に対してどのように対応をしていくのか。(中央東部地区)</p>	<p>も傾注してまいります。</p> <p>複合型中心拠点誘導施設整備構想の再考を求める会の皆様におかれましては、大変なご労苦により署名活動を展開され、これも再考を求める会の皆様の小諸市に対する一方ならぬ思いの深さからと理解しています。今回は、構想案を示してから市民説明会となりました。このことについては、市庁舎周辺の土地利用について、以前より、関係する法人の皆さんと意見交換を行っており、市としては、老朽化などの課題がある福祉施設の中心市街地への集約を検討し、関係する法人の皆さんからは、集客力の高いスーパーマーケットの営業のためには一定規模の用地が必要であることなどのご意見をいただきました。</p> <p>そこで、法人を主体とした様々な地権者が複雑に関係し合う中心市街地であることから、市が中心となって一体的に働きかけることで、用地の確保や事業化の促進を図ってまいりました。</p> <p>その中で、構想の策定にあたっては、関係する法人の皆さんとの協議を先行させていただいたところです。</p> <p>さまざまなご意見につきまして、可能な限り配慮し、事業を進めてまいります。</p>
<p>(14) 基本的には前向きにとらえている。自治基本条例の精神を尊重して進めてほしい。すべての市民の意見に対し、どのような場でどのような議論がなされたか公開すべきではないか。議会への対応経過、議会はどうかかわっていくのか、議会もこの問題をどう扱うか非常に大事なことと思う。今までの経過をこれから生かしてほしい。今後の進め方が大雑把すぎる。どのようにまとめていくか示してほしい。決まっていなければ、良く練ってほしい。(中央西部地区)</p>	<p>整備構想では、市の考え方を周知し、市民の皆さんからご意見をいただくため、市内各地区を対象とし、計10回の説明会を開催しました。</p> <p>基本計画素案についても、同様に市内各地域で説明会を開催するとともに、十分な意見募集期間を設け、市民の皆さんの理解が深まるよう努めてまいります。</p>
<p>(15) 市は、過去の事業において、創造の森など事業効果を検証すべきではないか。そういつ</p>	<p>現在、市の事業の事業効果の検証につきましては、行政マネジメントシステムにより、基本</p>

<p>たことを考えた上で新しい事業を行うべきではないか。それがなされていないのであれば、計画を見直すべきではないか。この事業も説明会の前のもっと早い段階で市民に説明すべきではなかったのか。(中央 西部地区)</p>	<p>計画の「政策・施策」と、それに基づく実施計画の「事務事業」について、「庁内での自己評価」を行い、その結果について第三者評価としての総合計画審議会からの意見を付した上で「成果説明書」としてまとめ、議会に報告しています。</p> <p>また、説明会については、市庁舎周辺の土地利用について、以前より、関係する法人の皆さんと意見交換を行っており、市としては、老朽化などの課題がある福祉施設の中心市街地への集約を検討し、関係する法人の皆さんからは、集客力の高いスーパーマーケットの営業のためには一定規模の用地が必要であることなどのご意見をいただいております。</p> <p>そこで、法人を主体とした様々な地権者が複雑に関係し合う中心市街地であることから、市が中心となって一体的に働きかけることで、用地の確保や事業化の促進を図ってまいりました。</p> <p>その中で、構想の策定にあたっては、関係する法人の皆さんとの協議を先行させていただいたところです。</p> <p>創造の森については、整備した後の管理が不十分となっておりますが、これから整備計画を策定する懐古園整備と一体的な活用について検討していきたいと考えています。</p>
---	---

2 施設全体（地権者・道路・用地等）

意見・要望	市の考え方（回答）
<p>(1) 事業には賛成である。周囲の商店へもいい影響が出ればよいと思う。学生等の若い世代にも使用してもらえるような施設を入れてほしい。(中央 中部地区)</p>	<p>若者に特化した機能を入れるということは難しいですが、若者をはじめ、様々な世代の皆さんが気楽に集える「多世代交流センター」の設置を考えています。</p>
<p>(2) 市道 1001 号線（ツルヤ前）の一方通行はどうなるのか。また、看護学校横の縦道はどうなるのか。(中央 中部地区)</p>	<p>市道 1001 号線につきましては、市庁舎地下にある市営第 1 立体駐車場及び隣接する市営第 2 立体駐車場に通じる重要な道路ですが、一部区間が一方通行であることは、大きな課題であると考えております。</p> <p>一方通行の解除に向けては、関係機関である</p>

	県公安委員会、地権者とも協議を行い、検討を進めてまいります。
(3) 事業用地の件で、地権者とはどうなっているのか。(大里・西小諸地区)	整備構想の策定にあたっては、地権者との協議を先行させていただいたところであり、主たる地権者については、今回の事業についてご理解いただいている状況です。また、他の地権者についても概ねご理解いただいている状況と理解しております。
(4) 農協のホールがなくなり、大会をやる大きな会場がなくなってしまう。新施設にそのような場所はできるのか。(南大井地区)	この施設に大きなホールは予定していません。「夢のホール」のある場所に施設を計画していますが、「虹のホール」は、残るとお聞きしているのでご理解をお願いします。
(5) 看護学校や小諸商工会議所も取壊しを行うのか。(三岡地区)	看護学校や小諸商工会議所を取り壊す計画はございません。
(6) 施設を建設することに賛成だが、課題は施設に行くまでの各地域の道路整備が必要だと思うがどうか。特に森山の道路事情はよくないと思う。(三岡地区)	各区からいただいた改良要望申請の状況を確認し、舗装修繕や側溝改良等の道路整備を計画的に進めます。
(7) 今回の事業はどのような種類で、地権者はどのくらいいるのか。事業に際して、用地買収ができない場所があると事業が進まないが、買収は出来るのか。(中央 東南部地区)	地権者は6者おり、主たる地権者については、今回の事業についてご理解いただいている状況です。また、他の地権者についても概ねご理解いただいていると理解しております。

3 公共機能（福祉・子育て支援）

意見・要望	市の考え方（回答）
(1) 市の構想に賛成。市街地に福祉施設を持つてくることをぜひ実現してほしい。(大里・西小諸地区)	現在の高齢者福祉センター「糠塚園」は、年間延べ2万人の方が利用されていますが、昭和48年1月の開設から45年が経過し、老朽化による施設整備の課題を抱えています。少子高齢化が進むなかで、高齢者福祉センターは、高齢者の社会参加や生きがいをづくりの拠点として、今後も必要性の高い施設であると捉えています。そのため、よりメリットが大きく、多くの方にとって利用しやすい中心市街地へ、多極ネットワーク型コンパクトシティの理念のもと、施設の整備を目指しています。
(2) 高齢者福祉施設は環境がいいところがいいのではないかと。目的にあった場所に建設する	市の「高齢者福祉センター」である「糠塚園」は、開設から45年が経過しているため、老朽化

<p>べきではないか。(南大井地区)</p>	<p>が進み、再構築が課題となっています。再構築にあたっては、自然環境を兼ね備えた場所も望まれますが、高齢化社会に対応した、一度の外出で様々な日常の用事を済ませることができる“利便性の高い場所”の方が、よりメリットが大きいことから、今構想において中心市街地での整備を目指すこととしました。</p>
<p>(3) 施設整備が将来への必要な投資ということだが、高齢者向けの施設という感がある。美南ガ丘小学校も老朽化が著しく、小学校の長期改築計画を早急に実行へ移すなど、子どものための投資も行なってほしい。(三岡地区)</p>	<p>現在の高齢者福祉センター「糠塚園」は、年間延べ2万人の方が利用されていますが、昭和48年1月の開設から45年が経過し、老朽化による施設整備の課題を抱えています。少子高齢化が進むなかで、高齢者福祉センターは、高齢者の社会参加や生きがいをづくりの拠点として、今後も必要性の高い施設であると捉えています。そのため、よりメリットが大きく、多くの方にとって利用しやすい中心市街地へ、多極ネットワーク型コンパクトシティの理念のもと、施設の整備を目指しています。</p> <p>美南ガ丘小学校の改築につきましては小学校の長期学校改築計画の策定の中で議論を進めていきますが、この計画策定にあたっては丁寧な説明に心がけるとともに、市民の皆様の意見や要望を可能な限り反映したいと考えています。</p>
<p>(4) 子育て支援の施設と糠塚園の代替施設ができるということだが、ぜひ糠塚園を使っていた人たちの思いを汲んでもらい進めてほしい。特に子育て支援については充実しすぎて困ることはないものだと思う。(川辺地区)</p>	<p>利用している皆様より意見を伺うため、6/1～6/22の間、「糠塚園」にてアンケート調査を実施しました。いただいた意見は、可能な限り施設整備に反映させていきたいと考えています。子育て支援施設についても市民の皆様のご意見、ご要望は可能な限り反映したいと考えています。</p>
<p>(5) 市民の関わり方を明確にした進め方にしたい。ひとつの考え方として、ボランティアセンターの機能を高める方向で内容を考えてもらいたい。地域の自主的な活動を支援できる機能を持たせることで、施設の機能が発揮できるのではないかと。高齢者福祉施設部分は、利用者の意見をアンケート等でよく聞いて進めるべきではないか。利用者からみてどうかというこ</p>	<p>ボランティアセンターにつきましては、多くのご要望もいただいております。施設内に整備する方向で検討しています。</p> <p>「高齢者福祉センター」の部分については、説明会や利用者等からいただいた意見、アンケートを、可能な限り反映させていきたいと考えています。また、設置に係る基準等により、建物の構造、規模が定められており、これまでの</p>

とを調査した方が良いのでは。そのような結果などにに基づき説得力のある説明をしていただきたい。(中央 西部地区)	「糠塚園」の利用状況等も踏まえて、必要な設備を精査して整備します。
(6) 老人と子供だけの計画ではダメ、若者が抜けている。楽しさを追求しないといけないのではないか。福祉施設の中に若者も使えるような温泉があるといいと思う。(中央 西部地区)	「高齢者福祉センター」には、浴場を設ける予定ですが、費用等の関係もあり、温泉とすることは想定しておりません。若者の浴場の利用については、この施設の用途から難しいと思われる。
(7) 財政面について、上水道や道路等のインフラ整備の維持管理費も含めての検討なのかどうか。建物の所有者は市になるのか。農協のベルウィンは取り壊す予定なのか。駐車場が 150 台から 200 台とのことだが、不足するのではないか。(中央 東部地区)	今回の事業費の中に含まれているのは、施設整備費と街路整備費です。含まれていないものは、長期財政見通しの中で見込んで管理していきます。 施設の建物は市が所有します。農協の「夢のホール」は取り壊す予定です。150 台の駐車場の必要性は、ツルヤ様からの意向でもあり、充足するものと考えます。

4 商業機能

意見・要望	市の考え方 (回答)
(1) 現在のツルヤの土地は誰のものか。また、借地とした時のテナント料の算出はどのように行うのか。(中央 中部地区)	店舗所有者であるツルヤ様と再出店に向けて協議をしており、用地は市の所有とすることで事業を進めております。
(2) 今回の資料の中でも JA について、ほとんど情報がないが関係ないのか。(中央 中部地区)	主たる地権者である JA 佐久浅間様とも協議をさせていただいており、事業推進にご協力いただいているところです。
(3) お土産としてツルヤのオリジナル商品を求めてくる人がいる。観光の観点からも誘致を進めてほしい。(中央 中部地区)	ご指摘のとおり、ツルヤ様は、商業施設だけではなく、観光振興の面からも必要な施設であると認識しています。
(4) 12 月でツルヤが閉店し、その後どのような影響が出ているか。(中央 中部地区)	多くの方から、買い物に大変不便をしているという声が届いています。併せて、本事業を早く進めてほしい旨のご要望もいただいています。また、商店街では、ツルヤ閉店後、商店街を歩く人が少なくなり、商店をこれ以上続けていられないという訴えもあるため、迅速な事業実施に努めてまいります。
(5) コンパクトシティの見直しをしようと言っていたが、今回ツルヤの撤退の話を受け見直しを行ったのか。ツルヤの売り場面積が 3 倍にな	ツルヤ様とは再出店に向けた協議を行っているところであり、ツルヤ様がこの場所で健全な店舗経営ができるものと判断をしたことから、

<p>ることだが、利益は上がるのか。利益が出なければツルヤが出て行ってしまうこともあるのではないか。ツルヤがいた時といなくなった今、まちはどう変わったのか。今まで小諸店は1日あたり1,200人程度が利用していたと聞いているが、それらは商店街に流れていたわけではなく、相生町は活性化していなかった。5年後に佐久に約21haのイオンモールができる。それを考えると今回の事業は危険な投資と思う。なので、ツルヤがいた時といなくなった後の人通りの増減について調べてあれば教えてほしい。ツルヤは3倍の面積になるということだが、高齢者が買い物をするには広すぎないか。(北大井地区)</p>	<p>協議に応じていただいているものと理解しています。</p> <p>また、売り場面積についても、ツルヤ様から健全な店舗運営にあたっては、十分な売り場面積が必要であるとの意見をいただいております。</p>
<p>(6) この事業により、相生町商店街にはどのような効果があるか。今までもツルヤがあつての商店街だった。相生町商店街の意思が見えてこないがどのように考えているのか。(大里・西小諸地区)</p>	<p>複合施設を相生町に整備することにより、市庁舎一帯の賑わいが相生町商店街に展開することが見込まれ、相生町商店街の賑わいの創出が期待されます。さらに、これを呼び水とし、新たな店舗の出店等が期待されます。</p>
<p>(7) 多極ネットワーク型コンパクトシティの中心的位置として複合施設があるが、相生町商店街をどのように位置づけているのか。『多極』の説明がほしい。(大里・西小諸地区)</p>	<p>各地域の特色を活かした「利便性の高いまちづくり」を実現するため、各地域を結び公共交通を充実させることにより、各地域の「生活拠点」と利便性の高いまちを形成する「中心拠点(中心市街地)」のネットワーク化を図ることが「多極ネットワーク型コンパクトシティ」であり、相生町商店街にも中心拠点の役割を期待しています。また、多極である各地域についても、利便性の向上により、地域づくりが加速することを期待しています。</p>
<p>(8) 市の東南部地区は住宅開発等の構想があるようだが、西部地区にはあるのか。また、農のブランド化の確立のため、その基盤となる農地整備が必要。西部地区において基盤整備事業等の構想を進めてほしい。(大里・西小諸地区)</p>	<p>現時点では、西部地区での住宅開発等の予定はありません。</p> <p>これからの農業経営に基盤整備事業を実施することは重要ですが、地元負担金をどうするかという課題があります。現在、大里地区の一部で、地元負担金が抑えられる中間管理事業を活用した基盤整備の実施に向け、準備委員会が設立されましたが、今後も基盤整備実施の希望</p>

	<p>地区に対して支援をしていきたいと考えています。</p>
<p>(9) すばらしい構想だがやり過ぎではないか。ツルヤのために実施している事業ではないか。地域の課題でやってもらいことはたくさんある。(大里・西小諸地区)</p>	<p>この事業は、少子高齢化や生産年齢人口の減少が加速する中で、これからの小諸市の10年・20年先を見据えた時に必要な施設であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものと考えますので、計画的に、また、着実に整備を進めますのでご理解をお願いします。</p> <p>小諸駅や市役所、病院など利便性の高い中心地域と各地区とを公共交通で結ぶこと（多極ネットワークの構築）で、周辺地域に居住する皆さんにも利便性を実感していただけるよう取り組みを進めます。</p> <p>公費事業は、地域の課題解決に資することを観点に実施しています。各地域においてもこのような観点で公共事業を実施します。</p>
<p>(10) ツルヤは間違いなく入るのか。もし途中で出ていくようなことがあればどうするのか。誰が責任をとるのか。(川辺地区)</p>	<p>現在、ツルヤ様とは再出店に向けた協議を行っているところであり、ツルヤ様がこの場所で健全な店舗経営ができるものと判断をしたことから、協議に応じていただいているものと理解しています。また、テナント契約にあたっては、リスクを低減し、安定したテナント事業の確保が可能となる契約方法としてまいります。</p>
<p>(11) ツルヤの話だけ出ているが、駅前はどういう状況なのか。また、ツルヤが複合施設に入り、売り上げがあがった時に、市内の他の2店舗が閉店となるようなことはないのか。企業は赤字の場所には絶対に不出店しないので、ツルヤが一時撤退を考えているということは、利益が出ないと想定しているのではないか。場所が狭くて利益が出ないということで判断をしかねているということは、そういうことが引っかかっているのではないか。ツルヤが施設に入り、協定書を結んで何十年を確約しても、企業は赤字なら違約金を払ってでも出ていく。そこら辺はどうするのか。これをチャンスとして相生町の皆さんに頑張ってもらって、今まであった専門店、野菜、精肉、鮮魚そういう個店を再度立</p>	<p>現在、ツルヤ様とは再出店に向けた協議を行っているところであり、ツルヤ様がこの場所で健全な店舗経営ができるものと判断をしたことから、協議に応じていただいているものと理解しています。また、これまでの協議の中で、市内の他の2店舗が閉店となるような話は出ていません。</p> <p>商店街への支援としましては、空き店舗対策として空き店舗活用事業や店舗誘致事業、商工会議所のチャレンジ起業相談事業などの事業を行っています。</p> <p>また、複合施設を相生町に整備することにより、市庁舎一帯の賑わいが相生町商店街に展開することが見込まれ、相生町商店街の賑わいの創出が期待されます。さらに、これを呼び水と</p>

<p>ち上げてもらって、相生町のシャッター通りをなくすように支援策にお金を使った方がいいのではないか。(南大井地区)</p>	<p>し、新たな店舗の出店等が期待されます。</p>
<p>(12) ツルヤがリスクが大きいと判断し、出店しないという判断をした場合はこの計画はどうなるのか。(南大井地区)</p>	<p>現在、ツルヤ様とは再出店に向けた協議を行っているところであり、ツルヤ様がこの場所で健全な店舗経営ができるものと判断をしたことから、協議に応じていただいているものと理解しています。</p>
<p>(13) 東南部開発など挙げられているが、コンパクトシティを推進していくということか。また、ツルヤ小諸店が閉店しなければ、この構想は出なかったと思うので、スーパーがしっかり経営できるか確認した方が良いと思う。(三岡地区)</p>	<p>第5次基本構想の中の「地域別まちづくり方針」として、地域の皆様が主体的に関わって、「めざす地域の姿」を策定いただきました。今後は、この方針に沿って、地域が元気になることについて、地域の皆様と協働により進めていきたいと考えます。</p> <p>その上で、各地域の特色を活かした「利便性の高いまちづくり」を実現するため、各地域を結び公共交通を充実させることにより、各地域の「生活拠点」と利便性の高いまちを形成する「中心拠点(中心市街地)」のネットワーク化を図る「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の推進を図ってまいります。</p> <p>また、現在ツルヤ様とは再出店に向けた協議を行っているところであり、ツルヤ様がこの場所で健全な店舗経営ができるものと判断をしたことから、協議に応じていただいているものと理解しています。</p>
<p>(14) 商業施設が当初の説明は3,000㎡と聞いていたが、今の説明は違うのか、また、ツルヤ東小諸店は駐車台数が200台程度あるが、150台で足りるのか。(三岡地区)</p>	<p>売り場、バックヤード等すべて含めた商業施設の面積は、約3,000㎡を予定しています。また、駐車台数については150台以上が必要と考えており、周辺駐車場の活用も踏まえながら整備してまいります。</p>
<p>(15) ツルヤ自身は、本来なら計画地ではなくもっと市の西側で店舗を構えたかったのではないかと。そうであれば、契約しても更新のタイミングで撤退などがあり得るのではないかと。(中央東南部地区)</p>	<p>現在、ツルヤ様とは再出店に向けた協議を行っているところであり、ツルヤ様がこの場所で健全な店舗経営ができるものと判断をしたことから、協議に応じていただいているものと理解しています。</p>
<p>(16) ツルヤとの協議はどの程度まで進んでいるのか。テナント料の協議はツルヤとどの程度</p>	<p>現在、全体レイアウトの検討や工事区分・管理区分の検討、テナント料の検討を行っていま</p>

<p>協議したうえでの数字か。施設の建設費の内訳の具体的な数字が知りたい。駐車場台数 150 台は市内のツルヤ店舗と比較すると少ないように思う。地下駐車場部分もツルヤに貸出し、テナント料をもらえばよい。整備効果のにぎわいの創出の具体的根拠は何か。(中央 東部地区)</p>	<p>す。また、地下駐車場の使い方も含め協議中です。</p> <p>駐車場台数については 150 台以上が必要と考えており、周辺駐車場の活用も踏まえながら整備してまいります。</p> <p>複合施設を相生町に整備することにより、市庁舎一帯の賑わいが相生町商店街に展開することが見込まれ、相生町商店街の賑わいの創出が期待されます。さらに、これを呼び水とし、新たな店舗の出店等が期待されます。</p>
<p>(17) 今回の計画には反対である。新規に公共施設を整備するのはいかがなものか。ツルヤに率先して整備をしてもらえばいいのではないか。なぜ市が整備を行うのか。中心拠点というが、経済政策は考えているのか。空き家に公共施設を整備する等の公共施設の有効活用を考えるべきだ。同じ 29 億円を使用するのであれば、懐古園に 29 億円をかけた方がいい。(中央 東部地区)</p>	<p>市では以前より、これからの高齢化社会に対応して、各地域から「こもろ愛のりくん」などの公共交通で往来でき、市役所周辺への一度の外出で日常生活の用事がすむ「利便性の高いまちづくり」を進めています。そのためには、日用品や食料品を購入するための商業施設（スーパーマーケット）が必要不可欠です。</p> <p>一般的に、集客力の高い優良なスーパーマーケットの営業を可能とする条件として、駐車場用地を含めた一定規模の敷地が必須です。しかし、休業したツルヤ小諸店の敷地だけでは面積が大きく不足するため、敷地の拡張が必要となります。対象地が、法人を主体とした様々な地権者が複雑に関係し合う中心市街地であることから、市が中心となって一体的に働きかけることで、用地の確保や事業化の促進が可能となります。</p> <p>そこで、事業が円滑で継続的に実施されるよう、市が商業施設と公共施設の「複合施設整備事業」として、用地取得や施設整備を行い、商業施設部分を民間事業者へ貸し付ける仕組みとします。このことにより、国交省の補助金や起債措置など、財源の確保についても拡充することが可能となっています。</p> <p>懐古園につきましては、地方創生交付金を活用する中で再生計画を策定し、集客力の向上に向けた整備を進めていきます。</p>

5 公共交通

意見・要望	市の考え方（回答）
（1）買い物難民と呼ばれる一人であるが、実際に買い物が大変であり、デマンドバスも本数が少ないため検討してほしい。（中央 中部地区）	平成 27 年から運行を開始した「こもろ愛のりくん」については、平成 28 年の 45,000 人から平成 29 年には 51,000 人と利用者は増加しておりますが、全体の経費に対する運賃収入の割合が平成 29 年で約 16%と決して高いとは言えない状態にあります。このような中で、現在の運行形態のまま、増便などをするためには、人員や台数を増加させなければならず、経費の増大につながることから、慎重に見極めていく必要があると考えています。
（2）今は自分で車の運転を行うので施設の利用はあまりないと思うが、10 年後など、車の運転に不安を覚えるときが来ることを考えれば、施設の必要性が理解できる。ただし、将来のためには、行きたい場所へ行けるような、公共交通ネットワークの強化が必要だと思う。（三岡地区）	公共交通ネットワークの強化に向けては、現在の公共交通システムの改善を図りながら、公共交通システムの将来像についても、関係機関や交通事業者と協議を進めてまいります。
（3）公共駐車場は、現在の公共駐車場と同様の考えで、有料化を検討しているのか。ツルヤ部分は無料となるのか。公共とツルヤで分けた場合に、管理区分や方法はどのようにするのか。（中央 東部地区）	福祉施設、商業施設に隣接した駐車場の整備を行います。また、商業テナント事業者による駐車場使用料を見込むことから、利用者の直接負担は想定していません。なお、駐車場の利用時間は、施設の運営時間に即したものとして検討します。

6 財政（費用等）

意見・要望	市の考え方（回答）
（1）今後 10 年間の財政は問題ないとなっているが、小学校の統廃合は喫緊の問題だと思うが、10 年間で 1 校だけなのか。30 億で足りるという根拠は何なのか。この見通しは甘いのではないか。（中央 中部地区）	市の財政につきましては、仮に今回の事業が無かったとしても、小諸市の置かれた状況を鑑みますと、今後も税収の減少が見込まれますので、市の事業は、「選択」と「集中」により精査し、健全財政を維持してまいります。 小学校の統廃合等につきましては、長期学校改築計画の策定の中で、市民の皆様の意見をお聞きしながら進めていくこととします。
（2）将来負担比率とは何のことか。どのように算定されるのか。借金（市債）はどこから借	将来負担比率とは、一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等

<p>りてくるのか。(中央 中部地区)</p>	<p>の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。また、借入先につきましては、公的資金と民間等資金の2種類がありますができるだけ有利な起債となるよう取り組んでいきます。</p>
<p>(3) 高齢者が増えていく世の中で、長期財政の民生費が増えていっていないが、本当なのか。倍くらいになってもおかしくないのではないか。また、小諸市の中心市街地の人口は1km²内に何人いるのか。(中央 中部地区)</p>	<p>長期財政見通しは、平成38年度までの10年間の一般会計の見込額を、事業ごとに精査し積み上げて算出したものです。民生費には高齢者対策に要する予算だけでなく、児童福祉や障がい者支援、生活保護等に要する予算も含まれており、少子化や人口減少の影響もあり、全体の数値で見ると大きな伸びとはなっていません。</p>
<p>(4) 何点か教えてもらいたい。推計人口について、20年後の小諸の人口はどれくらいを想定しているか。中心市街地に多額の投資をしてきているが、人口や税収はどのくらい増えているか。今回の整備によって、小諸東店やマツヤ、西友にどのくらい影響を与えるのか。3月の予算計上は全体計画ができないうちに道路だけ進むことになると思うが、これはコンパクトシティの時の進め方と同じと思う。コミュニティバスで郊外から人を運ぶという構想だが、郊外から居住を誘導するという考えはあるのか。説明会の途中で、予算を計上することは納得いかない。(北大井地区)</p>	<p>人口問題研究所の将来推計人口によりますと小諸市の人口は、2040年には、32,624人となることが推計されています。これは現在より、1万人近い人口減少となります。中心市街地に特化した数値はありませんが、これまでの傾向から推察すると、中心市街地の人口減少は、さらに著しいものになると考えられます。20年後の税収は推計してごさいませんが、このまま人口が減少すれば、相当な減収となることが推測されます。</p> <p>また、今回の整備構想は中心市街地唯一のスーパーマーケットが休業したことを受けて打ち出したものであり、中心市街地においては日用品や食料品を購入することのできるスーパーマーケットが必要不可欠であると考えます。</p> <p>居住誘導につきましては、今後、策定する「立地適正化計画」の中で、各地区のメリットを最大限に活かしつつ検討していきます。</p>
<p>(5) 市民からすれば知らない間にどんどん進んでいる印象を受ける。そういう意味ではこのように説明をしてもらうことは非常に重要と思う。今回のことも含めて、今後も市民との協働関係というものを進めてもらいたいと思っている。一点お聞きしたいのは、先ほど10年後の小諸市の財政の見通しということで説明いただいたが、大型事業が予定されており、これだけの</p>	<p>今回の事業により、今までの行政サービス水準が低下するということはないと考えていますが、仮に今回の事業が無かったとしても、小諸市の置かれた状況を鑑みますと、今後も税収の減少が見込まれますので、市の事業は、「選択」と「集中」により精査し、健全財政を維持していきます。</p>

<p>歳出を見込んでいる中で、今まで行っている通常の歳出に係る部分がどこか削られているのではないかと心配がある。今までの市民へのサービス水準は低下させないということで説明は受けてきてはいるが、もっとなにか裏付けとなるようなものがあれば教えてもらいたい。(北大井地区)</p>	
<p>(6) 市の高齢化率が31%という話だが、今後5年、10年で高齢化率はどれくらい上がる見込みか。コンパクトシティの考え方はわかるが、なるべくコストを掛けずに市の財政を維持していく、言ってみれば行政サービスの切り捨てをある程度予測しながら考えていかないと市が持たないという感じを受ける。また、単に大きな店舗があるから市民が行くかというところではなく、道路事情の良いところに人は流れてしまうのではないかと。小諸市の発展のためには国道18号線沿い、または国道141号線沿いの幹線をしっかり整備していくことが小諸市の存続に大きな関わりを持ってくると思う。(北大井地区)</p>	<p>今回の事業により、今までの行政サービス水準が低下するということはないと考えていますが、仮に今回の事業が無かったとしても、小諸市の置かれた状況を鑑みますと、今後も税収の減少が見込まれますので、市の事業は、「選択」と「集中」により精査し、健全財政を維持していきます。</p> <p>平成30年4月1日現在の高齢化率は31.17%ですが、団塊の世代が全て後期高齢者となる平成37年には、33.7%まで増加すると推計されます。</p> <p>なお、今後も地域の生活道路の維持管理にも傾注してまいります。</p>
<p>(7) 現在事業費は29億円ということだが、いざ事業が始まると事業費が40億円になったりするということはないのか。また、現在の29億円の内訳はホームページやどこかで見ることはできないのか。(川辺地区)</p>	<p>事業費については、整備構想で示した29億円を基準とし、できる限りの低減に努めてまいります。なお、整備構想については市ホームページに掲載しております。</p>
<p>(8) 公共施設等総合管理計画の中では、新規公共施設を整備しないこととなっているはずだが、今回の計画との整合性はどうか。(2/15 市民説明会)</p>	<p>新規施設の整備は、原則として行わないとしていますが、一方で特殊な事情がある場合を除くこととしており、この特殊な事情には、住民福祉に資する施設で、市民の皆さんのニーズや要望が多いものが含まれます。よって、今回の計画と公共施設等総合管理計画との整合性は図られています。</p>
<p>(9) 報道で国の補助金がついたと聞いたが、事業の中止はできないのか。ツルヤはテナント料を20年、年間4,500万円支払うだけのお客を集められるのか。現在の糠塚園に係る費用などが増えることはないのか。(中央 西部地区)</p>	<p>現在、ツルヤ様とは再出店に向けた協議を行っているところであり、ツルヤ様がこの場所で健全な店舗経営ができるものと判断をしたことから、協議に応じていただいているものと理解しています。</p>

	<p>現在の「糠塚園」は、その運営を年額 1,280 万円で社会福祉協議会へ委託しています。</p> <p>新しい「高齢者福祉センター」においては、施設の規模や設備、機能、事業内容等によって変わってきますが、現在より充実した施設及びソフト事業の整備を目指していることから、応分の費用の増はあると想定されます。</p>
--	--

7 その他

意見・要望	市の考え方（回答）
<p>(1) 地方交付税は DID 地区の数値を使っていると聞いたことがあるがそうか。また、市営住宅の建て替えとあるが、DID 地区内へ建てたらどうか。(中央 中部地区)</p>	<p>ご指摘のとおり、DID 地区の人口と面積が普通交付税の算定の基礎数値に使われています。</p> <p>公営住宅長寿命化計画（H26 年度）の中で、建て替え事業の方針を示していますが、今後、社会経済情勢の変化や施策効果に対する評価を踏まえて検討します。</p>

資料2 市民説明会アンケートでの意見・要望に対する市の考え方

1 整備構想

意見・要望	市の考え方（回答）
<p>(1) 交通ネットワークの充実、東南部開発の早期実現も行なってもらいたい。(三岡地区)</p>	<p>公共交通ネットワークの強化に向けて、現在の公共交通システムの改善を図りながら、公共交通システムの将来像についても、関係機関や交通事業者と協議を進めてまいります。</p> <p>また、東南部開発につきましても計画的に事業を進めます。</p>
<p>(2) 説明会により理解度が高まった。将来のネットワークは大きな研究課題なので検討をお願いします。(三岡地区)</p>	<p>公共交通ネットワークの強化に向けては、現在の公共交通システムの改善を図りながら、公共交通システムの将来像についても、関係機関や交通事業者と協議を進めてまいります。</p>
<p>(3) ハード整備よりソフト事業の充実が必要。(三岡地区)</p>	<p>市街地におきましては、これまで以上に、まちづくりのソフト面の取り組みが必要と感じています。本年3月に国土交通省より地方再生のモデル都市として全国の32の都市に小諸市が選定されました。現在、多くの主体が市街地ゾーンで市街地活性化のソフト事業を展開しているところですが、これを好機と捉え、地域の皆様が主体的に実施することを基本に、市としても積極的に関わっていきたいと考えています。</p>
<p>(4) 多極ネットワーク型コンパクトシティを進めるためには“周辺部のあり方”をしっかりと考えていただきたい。その上で、積極的に実施して行ってほしい。(三岡地区)</p>	<p>各地域の特色を活かした「利便性の高いまちづくり」を実現するため、各地域を結び公共交通を充実させることにより、各地域の「生活拠点」と利便性の高いまちを形成する「中心拠点（中心市街地）」のネットワーク化を図ることが「多極ネットワーク型コンパクトシティ」であり、多極である各地域についても、利便性の向上により、地域づくりが加速することを期待しています。</p>
<p>(5) 詳細な説明で理解できてきた。しっかりと良いものをつくってもらいたい。10・20年後に自分達が利用しやすい施設にしてほしい。(三岡地区)</p>	<p>ご指摘のとおり、この事業は、少子高齢化や生産年齢人口の減少が加速する中で、これからの小諸市の10年・20年先を見据えた時に必要な整備であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものと理解しています。ご期待に応えるよう、計画的に、着実に事業を進めます。</p>

<p>(6) 既に決定された事業である。速やかに進めていって良い。無駄にならぬように良い物件にしてもらいたい。(中央 東南部地区)</p>	<p>この施設は、今後さらに加速する少子高齢化や生産年齢人口の減少を見越した、これからの小諸市のまちづくりに必要な施設であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものであると理解しています。ご期待に応えるよう、計画的に、着実に事業を進めます。</p>
<p>(7) それぞれの施設にモデルとなった事例があるはずなので、それを提示してほしい。市役所経由ではなく、直接ツルヤの話を知りたい。 (ツルヤ小諸店を閉店した理由、同じ場所に再び出店するのか、複合型中心拠点誘導施設への出店に対する考え)。コンパクトシティ形成について、市民の住居についての考えを知りたい。 (商業施設が集まり地価、家賃が上がる。地価の上昇により土地、家の売却が行われる。家賃の上昇により収入の低い高齢者や若者は郊外住むようになりコンパクトシティと反する。)(中央 東南部地区)</p>	<p>新規の施設につきましては、基本的に県内の事例を参考にしながら、今後、具体化をしていきたいと考えています。 ツルヤ様とは、現在、出店に向けた協議を進めており、しかるべき時期にツルヤ様からご説明があります。 居住については、市内各地域にそれぞれの魅力がありますが、中心拠点周辺については、都市機能の集約による利便性に魅力を感じる方の居住に期待しております。</p>
<p>(8) コンパクトシティ構想において商業施設の誘致は必要不可欠。生鮮食品が購入出来なくて困るという意見も病院で聞いている。公共交通の整備も必要だと思う。(中央 東部地区)</p>	<p>ご指摘のとおり、多極ネットワーク型コンパクトシティの推進にあつては、これからの高齢化社会に対応して、各地域から「こもろ愛のりくん」などの公共交通で往来でき、市役所周辺への一度の外出で日常生活の用事がすむ「利便性の高いまちづくり」を進めていますが、そのためには、日用品や食料品を購入するための商業施設(スーパーマーケット)が必要不可欠です。また、各地域を結ぶ公共交通の充実も必要であることから、今後もこの充実に努めます。</p>

2 施設全体

意見・要望	市の考え方(回答)
<p>(1) ツルヤさんの一時休業は交通弱者にとってたいへんに切実な問題です。駅周辺の店(特にテナント)は家賃を払えない状態であることを聞いています。観光客はツルヤさんのオリジナル商品を楽しみにしている方々もいて、ツルヤさんが観光施設になり得ると思う。観光客や病院、市役所へ来た方々がツルヤのオリジナル</p>	<p>ご指摘のとおり、ツルヤ様は、商業施設だけではなく、観光振興の面からも必要な施設であると認識しています。 また、多くの方から、買い物に大変不便をしているという声が届いています。併せて、本事業を早く進めてほしい旨のご要望もいただいています。また、商店街では、ツルヤ閉店後、商</p>

<p>商品を広くなったツルヤさんで買っていけば利益も出る。市民の多くの方々が使える福祉施設と楽しめる観光施設との複合構想は素晴らしいと思います。(中央 中部地区)</p>	<p>店街を歩く人が少なくなり、商店をこれ以上続けていかれないという訴えもあるため、迅速な事業実施に努めてまいります。</p>
<p>(2) 愛のりくんの料金が痛い。往復 600 円は高い。小諸は大好きな町ですが、行政のやり方には腹が立つばかりです。駐車場が足りない。建物は壊す。仮設図書館の後はどう使うのかと思ったら古文書の置場になっているとのこと。あれほど使いやすく評判のよかった図書館を特殊なことに使って街の中心地を関係のない人たちが多いのお金を生み出すことに使えなかったのでしょうか。坂の上の信号の四つ角の建物は空き家になっていると思ったら教育委員会の主事の立場の人たちが使っているとのこと。消防署を新たに建築しているとお聞きしましたが、この場所を使うことは出来なかったのでしょうか。お金を生み出すことを考えてください。(中央 中部地区)</p>	<p>高齢者の方を中心に公共交通利用へ、できる限り移行していただくためには、高齢者を対象とした運賃の割引は有効であると考えております。ただし、全体経費に対する運賃収入の割合が、平成 29 年度では約 16%と決して高くないことや、運行人員や者料台数の増加などの経費の課題、さらにはタクシー事業者等交通事業者への圧迫の懸念などもあることから、慎重に見極めていく必要があります。旧臨時図書館については、現在、建物の一部を「古文書調査室」として利用しています。古文書は、小諸市の歴史を知るため上で欠かせない貴重な資料です。それらの散逸を防ぐため資料の収集と解説を行うとともに後世に残していくための保存も行っています。旧臨時図書館には書架や閉架書庫など古文書の調査・保存に適した設備が整っており、古文書調査室として施設を有効活用しています。</p> <p>坂の上の信号の建物については、坂の上小学校のイベント時に駐車場として臨時的に利用しているのみです。消防署につきましては、この場所は、面積が少なく、建設整備は困難です。</p>
<p>(3) 相生町通りと市営第 2 駐車場の間を一方通行ではなく相互通行にしてほしい(道路幅員等の条件はあるのか。警察の管轄か。)。もっと早く進められないか。ツルヤが閉店して困っている。(川辺地区)</p>	<p>市道 1001 号線につきましては、市庁舎地下にある市営第 1 立体駐車場及び隣接する市営第 2 立体駐車場に通じる重要な道路ですが、一部区間が一方通行であることは、大きな課題であると考えております。</p> <p>一方通行の解除に向けては、関係機関である県公安委員会、地権者とも協議を行い、検討を進めてまいります。</p> <p>また、多くの方から、買い物に大変不便をしているという声が届いています。併せて、本事業を早く進めてほしい旨のご要望もいただいています。また、商店街では、ツルヤ閉店後、商</p>

	<p>店街を歩く人が少なくなり、商店をこれ以上続けていかれないという訴えもあるため、迅速な事業実施に努めてまいります。</p>
<p>(4) 施設へのアクセス道路の整備も進めてほしい。(三岡地区)</p>	<p>市道 1001 号線につきましては、市庁舎地下にある市営第 1 立体駐車場及び隣接する市営第 2 立体駐車場に通じる重要な道路ですが、一部区間が一方通行であることは、大きな課題であると考えております。</p> <p>一方通行の解除に向けては、関係機関である県公安委員会、地権者とも協議を行い、検討を進めてまいります。</p>
<p>(5) 現状のツルヤから赤坂への道が狭いため、拡幅を検討できないか。(中央 東南部地区)</p>	<p>市道 1001 号線につきましては、市庁舎地下にある市営第 1 立体駐車場及び隣接する市営第 2 立体駐車場に通じる重要な道路ですが、一部区間が一方通行や幅員の狭さなど大きな課題であると考えております。</p> <p>こうした課題については、関係機関である県公安委員会、地権者とも協議を行い、検討を進めてまいります。</p>
<p>(6) 市民交流センター、こもろ医療センターの裏の道路を一方通行から 2 車線の道路にして欲しい。(中央 西部地区)</p>	<p>市道 1001 号線につきましては、市庁舎地下にある市営第 1 立体駐車場及び隣接する市営第 2 立体駐車場に通じる重要な道路ですが、一部区間が一方通行であることは、大きな課題であると考えております。</p> <p>一方通行の解除に向けては、関係機関である県公安委員会、地権者とも協議を行い、検討を進めてまいります。</p>

3 公共機能

意見・要望	市の考え方(回答)
<p>(1) 子育て中の主婦として障害のある方、病気のある方をサポートする訪問看護師としてコンパクトシティの中にこの施設が必要と思う。そのうえで、今回の説明会で将来こうなるということのみだけだったので、既存のものについてもどうするのかの説明が欲しかった。(中央中部地区)</p>	<p>この施設は、少子高齢化や生産年齢人口の減少が加速する中で、これからの小諸市の 10 年・20 年先を見据えた時に福祉、子育て支援の面からも必要な施設であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものと考えますので計画的に、また、着実に整備を進めます。</p> <p>既存の高齢者福祉センターの跡地利用につきましては、今後の検討とさせていただきます。</p>

<p>(2) 一日も早く賑わいのある街にするための努力をお願いしたい。市の中心が空洞化する市は小諸市全体の為にはならない。予定されている公共施設には老人保護だけでなく老若男女も集える施設になるよう考慮願いたい。全国から注目される小諸市になると思うのでPRをどんどんしてほしい。(中央 中部地区)</p>	<p>この施設は、街の賑わいの創出にも効果があると考えています。市民説明会等で「若者の施設」という要望もいくつかありましたが、若者に特化した機能を入れるということは難しいですが、若者をはじめ、様々な世代の皆さんが気楽に集える「多世代交流センター」の設置を考えています。</p>
<p>(3) この計画が決定であることが何よりも残念でした。公費を使用するのだから全世代が利用出来る施設がほしい。ぜひそのことを考えて全世代が生きいきと暮す小諸であってほしい。ものづくり(手工芸、そばづくり等)の拠点、卓球等の軽い運動施設、カルチャーセンターの設置。交流センターはものづくりの施設が足りない。愛のりくんの車体の色は一色に統一したらどうか。色々な車体の色がある中で区域別は雑。はっきりした色で小諸のシンボルになるような一色で統一してほしい。(中央 中部地区)</p>	<p>市民福祉の向上に資する施設で、直ぐに更新が必要な施設、市内に不足している施設、潜在的なニーズが高い施設という観点で選定を進めておりますのでご理解をお願いします。基本計画の素案策定にあたり、市民の皆様の意見や要望の反映に努めていきます。</p> <p>こもろ愛のりくんの色は、様々な利用者がいる中で、車体色による案内としております。</p>
<p>(4) 基本的にこの計画には反対。自由競争の中、ツルヤのみの誘致は、同業他社には問題ないのか。施設規模に対して駐車台数が全然足りないのではないのか。同じお金をかけるのなら、市内に車を駐車できるスペースを作ってほしい。市長の甘い口に気を付けようと思った。もっと質疑の時間が欲しい。最後にこの地区は賛成か反対かの総括をしてほしかった。福祉施設は緑の多い場所が良い。(北大井地区)</p>	<p>スーパーマーケットの誘致にあたっては、小諸市に本社を置き、小売業として県内トップのブランド力を持つ優良企業であるツルヤ様を誘致しています。</p> <p>駐車場台数については150台以上が必要と考えており、周辺駐車場の活用も踏まえながら整備してまいります。</p> <p>この施設は、少子高齢化や生産年齢人口の減少が加速する中で、これからの小諸市の10年・20年先を見据えた時に必要な施設であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものと考えますので計画的に、また、着実に整備を進めます。</p> <p>市の「高齢者福祉センター」である「糠塚園」は、開設から45年が経過しているため、老朽化が進み、再構築が課題となっています。再構築にあたっては、自然環境を兼ね備えた場所も望まれますが、高齢化社会に対応した、一度の外出で様々な日常の用事を済ますことができる“利便性の高い場所”の方が、よりメリットが</p>

	<p>大きいことから、今構想において中心市街地での整備を目指すこととしました。</p>
<p>(5) 市の中心に賑わいがあったのか。駐車場はありがたいが、病院の前で車イスで寒風にさらされている人や駐車場で迷っている人を見ると、これがコンパクトシティかと思う。ツルヤの9億はテナント料で20～25年で回収するのか。建設費は回収しないのか。地権者として土地代と相殺等の値引きはあるのか教えてほしい。高齢者福祉センターで何をやるのか。保健センターと用途が重ならないか。(北大井地区)</p>	<p>この施設は、少子高齢化や生産年齢人口の減少が加速する中で、これからの小諸市の10年・20年先を見据えた時に必要な施設であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものと考えますので計画的に、また、着実に整備を進めます。市民の皆様の意見や要望は、今後、策定する基本計画に可能な限り、反映するよう努めます。</p> <p>商業施設の建設費分は、テナント料として回収する方向で協議しています。</p> <p>高齢者福祉センターは、老人福祉法に基づき設置される施設で、高齢者に関する各種相談、健康の増進、教養の向上、レクリエーション等の事業を行うことを目的とし、市内高齢者の憩いの場として利用いただきます。保健センターは、地域保健法に基づき設置される施設で、住民に対し、健康相談、保健指導、健康診査その他、地域保健に関する必要な事業を行うことを目的とする施設です。母子保健を含め、市民の健康づくりに資する場、総合的な保健サービスの拠点として、市役所2階に設置されており、高齢者福祉センターとはその用途は異なります。</p>
<p>(6) 福祉施設(糠塚園)については、自然環境の良い場所が良いです。子育て支援施設についても、景色が良く自然環境の良い場所を選んでほしい。スーパーマーケットについては早く進めてほしい。(大里・西小諸地区)</p>	<p>市の「高齢者福祉センター」である「糠塚園」は、開設から45年が経過しているため、老朽化が進み、再構築が課題となっています。再構築にあたっては、自然環境を兼ね備えた場所も望まれますが、高齢化社会に対応した、一度の外出で様々な日常の用事を済ませることができる“利便性の高い場所”の方が、よりメリットが大きいことから、今構想において中心市街地での整備を目指すこととしました。</p> <p>子育て支援施設についても、施設利用前に診断が必要な医療機関が近くにあり便利であること、また、こもろ医療センターに隣接していることにより緊急時の対応ができることから、今</p>

	構想において中心市街地での整備を目指すこととしました。
(7) 小諸市の財政が悪化しなければいいのではないか。ツルヤが無くなって、とても不便。新しい高齢者施設は必要。南大井の道路整備もお願いしたい。(南大井地区)	<p>本事業を実施した上で、今後も健全財政を維持してまいります。また、多くの方から、買い物に大変不便をしているという声が届いています。併せて、本事業を早く進めてほしい旨のご要望もいただいています。また、商店街では、ツルヤ閉店後、商店街を歩く人が少なくなり、商店をこれ以上続けていかれないという訴えもあるため、迅速な事業実施に努めてまいります。現在の高齢者福祉センター「糠塚園」は、年間延べ2万人の方が利用されていますが、昭和48年1月の開設から45年が経過し、老朽化による施設整備の課題を抱えています。少子高齢化が進むなかで、高齢者福祉センターは、高齢者の社会参加や生きがいをづくりの拠点として、今後も必要性の高い施設であると捉えています。そのため、よりメリットが大きく、多くの方にとって利用しやすい中心市街地へ、多極ネットワーク型コンパクトシティの理念のもと、施設の整備を目指しています。</p> <p>なお、道路整備については、各区からいただいた改良要望申請の状況を確認し、舗装修繕や側溝改良等の道路整備を計画的に進めます。</p>
(8) 近所の人々が気軽に寄れる所が欲しい。(南大井地区)	様々な世代の皆さんが気楽に集える「多世代交流センター」の設置を考えています。待ち合わせ、談話、学習、食事、打合せ等にご活用いただければと考えています。
(9) 福祉施設について大賛成。若者の移住対策についても考えてほしい。(大里・西小諸地区)	子育て、教育、就労対策等の施策を積極的に展開することで、若者の移住にも努めます。
(10) 福祉施設と子育て支援施設を併設できるのでしょうか。(大里・西小諸地区)	各施設の設置における法令等の基準を満たすため、施設の構造やレイアウトの工夫により、複合化を行います。
(11) 高齢者対策には分散した方が良い。機能もあると思うが検討をお願いしたい。(南大井地区)	高齢者対策には、総合・拠点的な取り組みと、各地域での分散的な取り組みの両方が機能し合うことが必要であると考えています。分散的な各地域での取り組みでは、地区の公民館等を活用して、「健康達人区らぶ」や「介護予防地域交

	<p>流事業」等があり、集中と分散により効果を高めたいと考えています。</p>
<p>(12) 少子高齢化が進む中で、暮らしやすいまちづくりである「多極ネットワーク型コンパクトシティ」に賛成。整備目的も、糠塚園は老朽化が進み、多くの方が利用しているので、便利の立地、新築が必要だと思う。子育て支援施設の新設、充実もとても大事。愛のりくんターミナルも必要であり、賛成。ただ、つるやハスポットが当たってしまっていることと、糠塚園の建替えの場合の予算がどのくらいなのか知りたい。(中央 東南部地区)</p>	<p>現在の高齢者福祉センター「糠塚園」は、年間延べ2万人の方が利用されていますが、昭和48年1月の開設から45年が経過し、老朽化による施設整備の課題を抱えています。少子高齢化が進むなかで、高齢者福祉センターは、高齢者の社会参加や生きがいをづくりの拠点として、今後も必要性の高い施設であると捉えています。そのため、よりメリットが大きく、多くの方にとって利用しやすい中心市街地へ、多極ネットワーク型コンパクトシティの理念のもと、施設の整備を目指しています。</p> <p>「複合型中心拠点誘導施設整備構想」での、概算事業費は、施設整備費（公共施設、商業施設、公共駐車場等）で25億7千万円、街路整備費で3億3千万円、合計で29億円を見込んでいます。なお、29億円は、概算事業費であり、今後、精査し、極力、圧縮するよう努めます。</p>
<p>(13) 市役所、病院には外から直接入れないため建物の中からではなく建物の外からも入れるトイレが欲しい。高齢者だけではなく障害者も利用できる施設にしてほしい。介護保険が使えるリハビリ等の施設の併設もほしい。(中央 東部地区)</p>	<p>建物の外から直接入れるトイレは、セキュリティや管理の関係から難しいと考えております。</p> <p>施設の整備にあたっては、障がいをお持ちの方にもやさしい、バリアフリーの合理的配慮の提供のできる対応を目指します。</p> <p>介護保険が使えるリハビリ等の施設の併設は想定していませんが、健康増進・介護予防のための、運動機能及び生活の質の向上を図る教室の開催やトレーニング室の設置等、可能な限り要望の反映を図りたいと考えています。</p>

4 商業機能

意見・要望	市の考え方（回答）
<p>(1) 市ではなく、ツルヤが作れば問題ない。 (2/15 市民説明会)</p>	<p>市では以前より、これからの高齢化社会に対応して、各地域から「こもろ愛のりくん」などの公共交通で往来でき、市役所周辺への一度の外出で日常生活の用事がすむ「利便性の高いまちづくり」を進めています。そのためには、</p>

	<p>日用品や食料品を購入するための商業施設（スーパーマーケット）が必要不可欠です。</p> <p>一般的に、集客力の高い優良なスーパーマーケットの営業を可能とする条件として、駐車場用地を含めた一定規模の敷地が必須です。しかし、休業したツルヤ小諸店の敷地だけでは面積が大きく不足するため、敷地の拡張が必要となります。対象地が、法人を主体とした様々な地権者が複雑に関係し合う中心市街地であることから、市が中心となって一体的に働きかけることで、用地の確保や事業化の促進が可能となります。</p> <p>そこで、事業が円滑で継続的に実施されるよう、市が商業施設と公共施設の「複合施設整備事業」として、用地取得や施設整備を行い、商業施設部分を民間事業者へ貸し付ける仕組みとします。このことにより、国交省の補助金や起債措置など、財源の確保についても拡充することが可能となっています。</p>
<p>(2) 買物難民になっているので、早くすすめてほしい。(中央 中部地区)</p>	<p>多くの方から、買い物に大変不便をしているという声が届いています。併せて、本事業を早く進めてほしい旨のご要望もいただいています。また、商店街では、ツルヤ閉店後、商店街を歩く人が少なくなり、商店をこれ以上続けていかれないという訴えもあるため、迅速な事業実施に努めてまいります。</p>
<p>(3) 車もなくて本当に毎日常生活に困っている。どうか早く進むようお願いしたいです。近隣の方だけじゃなく少し遠方の方も困っています。(中央 中部地区)</p>	<p>多くの方から、買い物に大変不便をしているという声が届いています。併せて、本事業を早く進めてほしい旨のご要望もいただいています。また、商店街では、ツルヤ閉店後、商店街を歩く人が少なくなり、商店をこれ以上続けていかれないという訴えもあるため、迅速な事業実施に努めてまいります。</p>
<p>(4) 素晴らしい計画です。ぜひ早急に進めて欲しいです。そしてツルヤさんには絶対に入ってもらいたい。(中央 中部地区)</p>	<p>多くの方から、買い物に大変不便をしているという声が届いています。併せて、本事業を早く進めてほしい旨のご要望もいただいています。また、商店街では、ツルヤ閉店後、商店街を歩く人が少なくなり、商店をこれ以上続けて</p>

	<p>いられないという訴えもあるため、迅速な事業実施に努めてまいります。</p>
<p>(5) 複合型中心拠点誘導施設整備構想により相生町商店街は活気に満ちた街になるのか。ツルヤだけが得をするような気がする。(中央 中部地区)</p>	<p>複合施設を相生町に整備することにより、市庁舎一帯の賑わいが相生町商店街に展開することが見込まれ、相生町商店街の賑わいの創出が期待されます。さらに、これを呼び水とし、新たな店舗の出店等が期待されます。</p>
<p>(6) ツルヤ小諸店の早期再開をお願いします。この計画は市民にとっても有益な施設であると思います。駐車場の使い勝手が良いもので建設をお願いします。買物難民になっている方が多いので市役所前でやっていた夕市のようなものを毎日行ってほしい。(中央 中部地区)</p>	<p>多くの方から、買い物に大変不便をしているという声が届いています。併せて、本事業を早く進めてほしい旨のご要望もいただいています。また、商店街では、ツルヤ閉店後、商店街を歩く人が少なくなり、商店をこれ以上続けていられないという訴えもあるため、迅速な事業実施に努めてまいります。</p> <p>また、駐車場は、広域幹線である国道 141 号と相生町通りからのアクセスに配慮し、国道 141 号側と相生町通り側で商業施設前の 2 箇所に整備し、場内の交互相行が可能な車道幅員を確保や歩行者専用通路を設け、高齢者を含め、様々な世代の皆さんが利用しやすい利便性の高いものとしします。</p>
<p>(7) 複合型中心拠点施設の整備は必要です。しかし、市民の十分な理解を得ることが大切だと思います。商工会議所前の公園に公共トイレがほしい。日曜祝日は周辺が休日となり外来者に不便。大手門周辺整備はありがたいですが、観光客のためのお土産店コーナーまたは、土産店の開発が必要だと思います。(中央 中部地区)</p>	<p>この事業は、この先 10 年・20 年先を見据えた計画であること、そして本計画による整備は、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものであると理解しています。ご期待に応えるよう、市民の皆様丁寧に説明しながら、計画的に、着実に事業を進めます。</p> <p>土産店・土産品については、こもろ観光局や商工会議所などとも連携して研究を進めています。</p>
<p>(8) コンパクトシティの考え方は理解できるが、大金を掛けることについては話が早急すぎると思う。ツルヤも営利団体であるので、かつての大型電気店のように撤退の危険がぬぐえない気がする。駐車場について、病院開院後は停めるのが大変であり、駐車場についても考えなければいけないと思う。自分もあいのりくんに登録しているが、この施設に人が集中しすぎて</p>	<p>この事業は、この先 10 年・20 年先を見据えた計画であること、そして本計画による整備は、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものであると理解しています。また、ツルヤ様とは再出店に向けた協議を行っているところであり、ツルヤ様がこの場所で健全な店舗経営ができるものと判断をしたことから、協議に応じていただいているものと理解していま</p>

<p>も相生町への客は減ってしまうのではないか。しかし、計画通りにいけば良い話であると思う。(中央 中部地区)</p>	<p>す。 駐車場は、広域幹線である国道 141 号と相生町通りからのアクセスに配慮し、国道 141 号側と相生町通り側で商業施設前の 2 箇所に整備し、場内の交互通行が可能な車道幅員を確保や歩行者専用通路を設け、高齢者を含め、様々な世代の皆さんが利用しやすい利便性の高いものとしします。</p>
<p>(9) 道路整備を行ってほしい。若者が集える場所も欲しい。5 年後、10 年後の小諸を考えてよい駅前商店街、人の集まるにぎやかな所であって欲しい。(中央 中部地区)</p>	<p>各区からいただいた改良要望申請の状況を確認し、舗装修繕や側溝改良等の道路整備を計画的に進めます。また、複合施設を相生町に整備することにより、市庁舎一帯の賑わいが相生町商店街に展開することが見込まれ、相生町商店街の賑わいの創出が期待されます。さらに、これを呼び水とし、新たな店舗の出店等が期待されます。</p>
<p>(10) 9 億円をテナント料として返してもらふとのことだが、9 億円に対する利息はテナント料にプラスされるのか。大金が動くので慎重にお願いしたい。(北大井地区)</p>	<p>テナント料として、商業施設の建設費を回収するものですが、テナント料の算出にあたっては、ご指摘のとおり慎重に協議してまいります。</p>
<p>(11) 構想には全面的に賛成し、進め方も理解する。ツルヤの面積を小さくし、若者が集えるスペースを入れてほしい。糠塚園にお風呂は不可欠。散策コースも必要と思うので、共通エリア内の広い郊外が良いと思う。相生町商店街と競合しない業種に入ってほしい。あいのりくんのターミナルはツルヤと同じフロアが便利だと思う。食堂、薬局、DPE 店、文房具店の出店の出店は反対。ゲームセンター、軽食スペース、花屋、100 円ショップ、広い書店、クリーニング店は出店してほしい。スーパー以外の商業施設と、福祉施設については、説明会等での市民の声を反映させてほしい。(北大井地区)</p>	<p>若者に特化した機能を入れるということは難しいですが、若者をはじめ、様々な世代の皆さんが気楽に集える「多世代交流センター」の設置を考えています。 新しい高齢者福祉センターにおいても、お風呂は不可欠と考えています。再構築にあたっては、環境のよい郊外にといった意見もありますが、これからの少子高齢化に対応した“利便性の高いまちづくり”を実現するため、「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の理念のもと、よりメリットの大きい中心市街地での施設整備を目指しています。なお、この構想の実現により「歩きたい空間づくり」も目指しており、街なかを歩き散策していただくことで、健康づくりとともに、中心市街地の活性化にもつなげたいと考えています。施設の整備にあたっては、説明会やアンケート等で、市民の皆様からいただいた全ての意見を取り入れることはできません。</p>

	<p>んが、可能な限り反映させていきたいと考えています。</p> <p>施設に入れる機能につきましては、スペースの問題もあり、全ての要望にお応えすることはできませんが、基本計画の策定にあたり、市民の皆様の意見や要望は、可能な限り反映に努めます。</p>
<p>(12) 変更できないようなので、テナントについては考え直した方が良いと思われます。ハードを作りその後有効活用できなくなった施設をたくさん見てきました。そんな事にならないように願います。今回は広報こもろではなく、別に市民に伝える分かりやすい目的等を発行したらどうかと思います。(中央 西部地区)</p>	<p>複数の媒体を活用し、情報提供、周知に努めます。</p> <p>基本計画の策定にあたり、市民の皆様の意見や要望は、可能な限り反映に努めます。</p>
<p>(13) ツルヤさんが20年間(使用料をいただく期間)小諸市内に3店舗で事業展開していく保障はあるのか。(人口が減少するなかで民間企業との意識のずれがあるのではないか。)20年間存在してもらうための担保は確実にあるのか。(中途に撤退した場合の担保。)(市が損をしないように!旧ジャスコ店舗に進出した小売業者が補助金を受けて途中で撤退した事例もある。)契約の中に明確に標記して、市が損をしないように。建設する施設の案内表示は大きな文字で表記して見やすくするように。市役所や駐車場の案内表示には、大変不満であり、設計者と検収する市との感覚に疑問がある。エレベーター内の各階の案内表示にも検収担当者の感覚を疑う。位置が低くて人が立つと見えない。(中央 西部地区)</p>	<p>現在、ツルヤ様とは再出店に向けた協議を行っているところであり、ツルヤ様がこの場所で健全な店舗経営ができるものと判断をしたことから、協議に応じていただいているものと理解しています。また、テナント契約にあたっては、リスクを低減し、安定したテナント事業の確保が可能となる契約方法としてまいります。</p> <p>施設の建設にあたっては、これまでの施設建設での経験を活かすとともに、市民の皆様の意見や要望は、可能な限り反映するよう努めます。</p>
<p>(14) 整備構想の概要が理解できた。民間事業での進展の方向は難しく、より深く見直し検討をしながら市の事業として前進させてほしい。まずは小諸市の中心に活気が欲しい。(中央 東部地区)</p>	<p>この事業は、この先10年・20年先を見据えた計画であること、そして本計画による整備は、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものであると理解しています。ご期待に応えるよう、市民の皆様に丁寧に説明しながら、計画的に、着実に事業を進めます。</p> <p>複合施設を相生町に整備することにより、市庁舎一帯の賑わいが相生町商店街に展開するこ</p>

	とが見込まれ、相生町商店街の賑わいの創出が期待されます。さらに、これを呼び水とし、新たな店舗の出店等が期待されます。
(15) 中心拠点の人口を増やすことも活発なまちづくりには必要と思います。この施設を高層にして上部をマンションにするくらいしてほしいなと感じています。完成を楽しみにしていません。(中央 東部地区)	<p>居住については、市内各地域にそれぞれの魅力がありますが、中心拠点周辺については、都市機能の集約による利便性に魅力を感じる方の居住に期待しております。</p> <p>については、ご指摘のご意見も踏まえ、中心拠点への居住誘導を検討していきます。</p>
(16) 現在、相生町にあったツルヤさんがなくなって、ツルヤ小諸東店に客が集中してすごい混雑になってしまい、買い物をするのも大変で、駐車場がいっぱいでとにかく買物に行くのに苦慮しています。一日も早い工事の着工となるよう望んでいます。荒町は人通りがまったくなく商売になりません。現在の計画でよろしいです。進めてください。至急お願いします。(中央 東部地区)	<p>多くの方から、買い物に大変不便をしているという声が届いています。併せて、本事業を早く進めてほしい旨のご要望もいただいています。また、商店街では、ツルヤ閉店後、商店街を歩く人が少なくなり、商店をこれ以上続けていかれないという訴えもあるため、迅速な事業実施に努めてまいります。</p>

5 公共交通

意見・要望	市の考え方(回答)
(1) 愛のりくんや公共交通の乗り物が利用者のことを本当に考えてくれているのか、事業者の立場が強すぎる。市側でもよく考えてほしい。(中央 中部地区)	<p>公共交通ネットワークの強化に向けて、現在の公共交通システムの改善を図りながら、公共交通システムの将来像についても、関係機関や交通事業者と協議を進めてまいります。</p>
(2) 店舗内は高校生、歩くのがやっこのお年寄りもたくさん見かけた。ツルヤさんの一時休業により、特に高齢者、車の運転が出来ない人たちが買物難民化しているのではと心配です。愛のりくんの利用等もあるとは思いますが、簡単に便利にスムーズに使える様な形がとれるようお願いします。(中央 中部地区)	<p>多くの方から、買い物に大変不便をしているという声が届いています。併せて、本事業を早く進めてほしい旨のご要望もいただいています。また、商店街では、ツルヤ閉店後、商店街を歩く人が少なくなり、商店をこれ以上続けていかれないという訴えもあるため、迅速な事業実施に努めてまいります。</p> <p>また、公共交通ネットワークの強化に向けては、現在の公共交通システムの改善を図りながら、公共交通システムの将来像についても、関係機関や交通事業者と協議を進めてまいります。</p>
(3) バス、愛のりくんを利用するのに荷物が	公共交通ネットワークの強化に向けて、現在

<p>限られてしまうので考えてほしい。(中央 中部地区)</p>	<p>の公共交通システムの改善を図りながら、公共交通システムの将来像についても、関係機関や交通事業者と協議を進めてまいります。</p>
<p>(4) 中心市街地の利便性は良くなると思うが、公共交通の改善は重要。(大里・西小諸地区)</p>	<p>公共交通ネットワークの強化に向けては、現在の公共交通システムの改善を図りながら、公共交通システムの将来像についても、関係機関や交通事業者と協議を進めてまいります。</p>
<p>(5) 市民の意見を聞くことは大切だが、計画が遅れないようスピード感を持って進めてほしい。そして施設までのアクセスであるこもろ愛のりくんのスピードアップ、増便、使い勝手の自由度を高めてほしい。(三岡地区)</p>	<p>多くの方から、買い物に大変不便をしているという声が届いています。併せて、本事業を早く進めてほしい旨のご要望もいただいています。また、商店街では、ツルヤ閉店後、商店街を歩く人が少なくなり、商店をこれ以上続けていられないという訴えもあるため、迅速な事業実施に努めてまいります。</p> <p>なお、増便等については、現在の運行形態のままでは、人員や台数を増加させなければならず、経費の増大につながることから、慎重に見極めていく必要があると考えています。</p>
<p>(6) 道路整備も含め、利用したいときに利用できるような公共交通ネットワークを構築してほしい。(三岡地区)</p>	<p>各区からいただいた改良要望申請の状況を確認し、舗装修繕や側溝改良等の道路整備を計画的に進めます。</p> <p>また、公共交通ネットワークの強化に向けては、現在の公共交通システムの改善を図りながら、公共交通システムの将来像についても、関係機関や交通事業者と協議を進めてまいります。</p>
<p>(7) 愛のりくんの運賃を下げるよう、競争入札や小さい車両の導入など年間予算を低減するよう努めるべき。また、ツルヤ以外に軽井沢のアウトレットのお店などもいれたらどうか。(三岡地区)</p>	<p>公共交通の運行改善を進めているところですが、車両の小型化は、運行人員や車両台数の増加などの経費の増加の可能性もあり、交通事業者等の関係団体と慎重に協議していく必要があります。</p> <p>スーパーマーケットの誘致にあたっては、小諸市に本社を置き、小売業として県内トップのブランド力を持つ優良企業であるツルヤ様を誘致しています。スペースの制約もあり、他の店舗の入店は困難と考えています。</p>

6 財政（費用等）

意見・要望	市の考え方（回答）
<p>（1）小諸市公共施設等管理計画に記載がある特殊な事情での整備であるということであれば、特殊な事情の説明が足りない。民間の経営に口を出しすぎのように感じる。将来、子供たちに過大な負担を掛けないようにして欲しい。（2/15 市民説明会）</p>	<p>小諸市公共施設等管理計画の説明が足りないとのこと指摘は、その後の説明会に活かさせていただきました。</p> <p>商業施設は、本事業には、欠かせない機能であり、市として誘致を進めているものです。</p> <p>仮に今回の事業が無かったとしても、小諸市の置かれた状況を鑑みますと、今後も税収の減少が見込まれますので、「選択」と「集中」により精査し、健全財政を維持してまいります。</p>
<p>（2）一日も早い決定を願っているが、建物の耐用年数はどれくらいか。土地の購入金額が大きくなりそうで不安。（中央 中部地区）</p>	<p>耐用年数は、現在 34 年を想定しております。</p> <p>用地補償費は、基準に基づき適正な金額とし、ご指摘のとおり迅速な事業実施に努めてまいります。</p>
<p>（3）明らかに建設決定済みの説明会。もしこの計画にツルヤが乗るのであれば小諸東店を閉店することになるのではないかと。小諸市全体計画、長期ビジョンをしっかりと立て、市民に十分納得の行く説明をすべし。郊外は中山間地であり、農家は農地を持って中心部に移転することはできない。（北大井地区）</p>	<p>本事業の基になっている「多極ネットワーク型コンパクトシティ」は、少子高齢化や生産年齢人口の減少が加速する中で、これからの小諸市の 10 年・20 年先を見据えた時に、街中の都市機能を充実し、周辺部と公共交通で結ぶことで、市域全体の利便性を高めるものです。このことから、この施設は、将来の都市の維持に必要な施設であり、市全体にメリットをもたらすものと考えますので、計画的に、また、着実に整備を進めます。</p> <p>現在、ツルヤ様とは再出店に向けた協議を行っているところであり、ツルヤ様がこの場所で健全な店舗経営ができるものと判断をしたことから、協議に応じていただいているものと理解しています。また、これまでの協議の中で、市内の他の 2 店舗が閉店となるような話は出ていません。</p> <p>あわせて、複合施設を相生町に整備することにより、市庁舎一帯の賑わいが相生町商店街に展開することが見込まれ、相生町商店街の賑わいの創出が期待されます。さらに、これを呼び水とし、新たな店舗の出店等が期待されます。</p>
<p>（4）多極ネットワーク型コンパクトシティ</p>	<p>この施設は、今後さらに加速する少子高齢化</p>

の推進に賛同する。機能が発揮できれば魅力ある市になるのではと期待する。スケジュールの順守、説明会の完全実施、想定外の事業費がないようお願いします。(三岡地区)

や生産年齢人口の減少を見越した、これからの小諸市のまちづくりに必要な施設であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものであると理解しています。ご期待に応えるよう、計画的に、着実に事業を進めてまいります。

事業費については、整備構想で示した 29 億円を基準とし、できる限りの低減に努めてまいります。

資料3 市民の声を届ける要望書に対する市の考え方

要望書受理 平成30年5月31日

要望書提出者 小諸市議会 議長 林 稔 様

要望の要旨	市の考え方（回答）
<p>基本計画の策定に至るプロセスにおいては、市民協働で進められるよう、改善されることを強く望む。</p> <p>行政として市民の声を真摯に受け止め、より市民益につながる事業となるよう強く要望する。</p> <p>議会の予算決算委員会でも今後審議していくので、早い情報提供と丁寧な説明に努められ、総事業費29億円については増額のないよう圧縮されることを求める。</p> <p>議会と語る会で出された市民の声について、基本計画への反映に努められたい。</p>	<p>複合型中心拠点誘導施設基本計画の策定にあたっては、市民説明会やパブリックコメント等により、今後も市民の皆様への情報公開・説明責任等を果たすよう努めます。</p> <p>複合型中心拠点誘導施設整備にあたっては、総事業費29億円について可能な限り圧縮します。</p> <p>議会と語る会で出された市民の皆様からの意見等については、可能な限り基本計画へ反映するよう努めます。</p>

議会と語る会における市民要望等について、各常任委員会別の意見・要望に対する市の考え方については、次の頁以降に示します。

○総務文教委員会

1 公共施設

	意見・要望	市の考え方（回答）
1	世代間交流施設（喫茶・軽食堂）交流スペース（趣味の会など）くつろぎの場をつくってほしい。	誰でも気軽にくつろげる「フリースペース」を整備する方向で検討しています。 厨房が必要となる喫茶・軽食堂等は、当面、整備しない予定です。
2	子供たちが遊べる施設を。	「子供たちが遊べる施設」として特化したものでなく、誰でも気軽にくつろげる「フリースペース」を整備する方向で検討しています。
3	他の公共施設（ハローワーク・社会保険事務所）の建設は。	ご要望は、お聞きしました。市の裁量で決められる施設ではありませんので、当面、建設は難しいと考えております。
4	ボランティアセンターを是非入れてほしい。	ボランティアセンターは、整備する方向で検討しています。
5	子育て支援施設は既存の保育園へ。	病児・病後児保育施設は、周辺に医療機関も多く、二次救急医療を担う医療機関とも隣接する複合型中心拠点誘導施設内への設置が望ましいと考えています。
6	病児・病後児施設をこもろっじ中心に構想できないか。現遊休施設を利用できないか。個人民家での対応はどうか。 病児・病後児施設の規模はどの程度か。	病児・病後児保育施設は、周辺に医療機関も多く、二次救急医療を担う医療機関とも隣接する複合型中心拠点誘導施設内への設置が望ましいと考えています。施設規模は、保育園の設備基準に定められた児童1人当たりの面積を考慮しながら、今後全体のスペースを決めていきます。
7	子育て支援施設の需要はあるのか。	病児・病後児保育施設、ファミリーサポートセンターともに、アンケート結果及び他市の設置状況から市民ニーズはあると考えています。

2 その他

	意見・要望	市の考え方（回答）
1	新たに箱モノをつくる必要がない。	この施設は、少子高齢化や生産年齢人口の減少が加速する中で、これからの小諸市の10年・20年先を見据えた時に必要な施設であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものと考えますので計画的に、また、着実に整備を進めます。
2	補助金ありきの計画となっていないか。	補助金を活用する事業ではありますが、補助金ありきではなく、小諸市にとって必要な施設であることから整備を進めるものです。
3	市民の声が反映されていない。（市	市民協働を進める上での手法としては、白紙段階で投げ

	<p>民アンケート調査を) 市民説明不足。(ツルヤありきの印象) 市民不在の計画ではないか。(行政主導・暴走的ではないか)</p> <p>なぜ構想段階から市民への説明又は市民協働の体制が取れなかったのか。</p>	<p>かけるだけでなく、素案を示してから市民参加も有効であり、特に今回は、企業誘致という計画段階で相手方に配慮をしなければならないケースであり、一定の調整がとれた段階で、市民の皆様への情報提供をすることとなりました。</p> <p>市民の皆様の声は、構想素案を示してから可能な限りお聞きするようにしました。施設計画素案についてもできるだけ丁寧な説明に努めます。</p>
4	<p>街周辺部の地域の意識の薄さをどうとらえているか。</p> <p>郊外(環境の良さで)への建設を望む。</p>	<p>街周辺部の方からも、多くの意見をいただいております。特段、意識が薄いとは捉えておりません。</p> <p>本事業は、多極ネットワーク型コンパクトシティの理念の下に進めている事業であり、街中に整備してこそ、市域全体の利便性を高めるといったメリットがあると考えております。</p>
5	<p>県産木材の利用を。</p>	<p>建設費との兼ね合いがありますので、今後の検討とさせていただきます。</p>
6	<p>ぎゅうぎゅうづめ施設とならないように配慮してほしい。</p>	<p>可能な限り、ご要望にお応えできるよう努めていますが、狭過ぎて使い難くしてしまえば、本末転倒であります。快適で使いやすい施設となるよう、配慮してまいります。</p>
7	<p>市民説明会等のスタイルの再検討を(威圧的で監視されているように感じる)。</p>	<p>威圧的で監視されているように感じられないよう工夫してまいります。</p>
8	<p>街中心部への投資に偏っている。</p> <p>郊外への公平な税金の投入を。(特に西部地区)</p>	<p>公費の投資は、金額ではなく、地域の課題解決に資することを観点に実施しています。</p> <p>郊外への投資も必要に応じて実施します。</p>
9	<p>用地買収・建設費・テナント料など市民への説明と透明性をどう図るのか。</p>	<p>ある程度、精度の高い数字になりましたら、関係者の了解を得た上で、なるべく早い段階に公表します。</p>
10	<p>将来中心部はようになっていくと予想しているのかまたどうしたいのか、それは現実的か。</p>	<p>中心市街地が活性化することは、市域全体の地域振興につながるものと考えています。また、多極ネットワーク型コンパクトシティの理念の下、街中の都市機能を充実することで、市域全体の利便性を高めるといったメリットがあると考えております。</p>
11	<p>市民税の値上げは大丈夫か。</p>	<p>小諸市の市民税は、標準税率を使っており、今後もその予定です。</p>
12	<p>他の事業への影響はないのか。(財政的な見地から)</p>	<p>仮に大型事業が無かったとしても、小諸市の置かれた状況を鑑みますと、今後も税収の減少が見込まれますので、市の事業は、「あれも これも」ではなく、「選択」と「集</p>

		中」が、極めて重要であると考えております。
13	人口減少に伴う将来負担（起債）への不安。	今後も人口減少により税収の減少が見込まれますので、市の事業は、「選択」と「集中」により、健全財政を維持してまいります。

○福祉環境委員会

1 公共施設

	意見・要望	市の考え方（回答）
1	高齢者福祉施設の需要はあるのか。	現在の高齢者福祉センター糠塚園は、入浴施設の利用のほか、高齢者クラブ活動、各種教室、サロン等高齢者の社会参加や生きがいをづくりの拠点となっており、年間約2万人の利用がありますが、今後、高齢者の増加に伴い、需要は高まる見込みです。そのほか、運動器の機能向上及び生活の質の向上を目指すための介護予防教室の開催や、介護予防の取り組みを地域で進めるための担い手を育成する研修の開催等、介護予防活動の拠点としても充実させていきたいと考えております。
2	高齢者福祉施設は必要なし。 移設の必要性はあるのか。 中心市街地に必要なし。	糠塚園の老朽化による再構築が課題となっているなかで、現施設の自然環境を兼ね備えた場所も望まれますが、高齢化社会に対応した、一度の外出で様々な日常の用事を済ませることができる“利便性の高い場所”の方が、よりメリットが大きいことから、今構想において中心市街地での整備を目指すこととしました。
3	高齢者福祉施設にはお風呂は必要。 利用しやすい施設に介護予防が可能な施設に。（スペースにゆとりを） 市民・利用者の意見を反映させて。 （アンケート調査の実施を）	新しい高齢者福祉センターにおいても、お風呂は不可欠と考えています。再構築にあたっては、高齢化社会に対応した、一度の外出で様々な日常の用事を済ませることができる“利便性の高い場所”に整備することで、利用促進につなげていき、介護予防教室の開催や、介護予防の取り組みを地域で進めるための担い手を育成する研修の開催等、介護予防活動の拠点としても充実させていきます。平成29年8月より高齢者福祉センター運営委員会との協議を重ね、また、3月には糠塚園を拠点として活動する高齢者クラブとの協議を行い、当構想へのご賛同をいただいております。そのほか、3月から5月に開催された地区説明会では、新施設の整備に対する具体的な意見はありませんでした。糠塚園利用者より直接ご意見を伺うため、6月1日から22日までの間にアンケート調査を実施します。 施設の整備にあたっては、説明会やアンケート等で、市民の皆様からいただいたすべてのご意見を取り入れることはできませんが、可能な限り反映させていただきたいと考えています。糠塚園利用者はもちろん、現在糠塚園を利用していない方や、今後利用が見込まれる方にと

		って利用しやすい施設を目指して行きます。
4	糠塚園は現地建て替えを。	糠塚園の自然環境を兼ね備えた場所も望まれますが、高齢化社会に対応した、一度の外出で様々な日常の用事を済ませることができる“利便性の高い場所”の方が、よりメリットが大きいことから、今構想において中心市街地での整備を目指すこととしました。
5	給食（宅配）施設の整備。	高齢者福祉センターの設置に係る基準等は、昭和52年8月1日付け厚生省社会局長通達「老人福祉法による老人福祉センターの設置及び運営について」により、建物の構造、規模が定められておりますが、新しい施設では、これまでの糠塚園の設備の利用状況を踏まえ、新しい施設に必要な設備を精査していきます。なお、現在の糠塚園では、お弁当の配達サービスを利用しています。
6	トレーニング施設を。	高齢者福祉センターの設置に係る基準等は、昭和52年8月1日付け厚生省社会局長通達「老人福祉法による老人福祉センターの設置及び運営について」により、建物の構造、規模が定められておりますが、新しい施設では、これまでの糠塚園の設備の利用状況を踏まえ、新しい施設に必要な設備を精査していきます。施設といった大規模ではない設備（トレーニング室、トレーニングコーナー）を含め、検討して行きます。

2 その他

	意見・要望	市の考え方（回答）
1	高齢者福祉施設はクリーンセンター余熱利用が出来ないか。	<p>現在、クリーンヒルこもろでは、焼却処理する際に発生する余熱を、施設内にある温浴施設でお湯の加温、燃焼用空気及び白煙防止用の熱源として利用しています。</p> <p>また、当施設の処理能力は、24t/日の大変小規模な施設であり、他に有効利用できる余熱量も発生していないため限定的な利用となっております。</p> <p>なお、大規模な焼却施設でも、遠隔地での余熱利用については、効率が著しく悪いほか、多額の初期費用や維持管理費用が必要であるため、有効な利用は見込めません。</p>

○経済建設委員会

1 公共施設

	意見・要望	市の考え方（回答）
1	交通の渋滞・混雑への対策は。	<p>交通渋滞・混雑を抑制する対策につきましては、駐車場へ通じる道路整備及び円滑な入出庫が行なえる駐車場の運営、そして公共交通の利用による自家用車両の低減が挙げられます。</p> <p>道路整備につきましては、国道 141 号から北佐久医師会館まで通じる市道 1013 号線の道路改良工事を本年度実施する計画です。</p> <p>駐車場の運営計画につきましては、利便性について多くのご意見をいただいております、利便性が高まるよう、駐車場の運営計画を検討します。</p> <p>公共交通の利用促進については、安全で円滑な運行が行うことのできる「こもろ愛のりくん」のターミナル（乗り換え場所・待合室）を設置します。</p>
2	<p>公共交通ターミナルは駅が基本ではないか。（駅と新施設はシャトル便でどうか）</p> <p>ターミナルを駅前から移す理由は何か。あいのり君のターミナルは必要無い。（二極化への懸念）</p> <p>駅との導線などどう考えているのか。</p>	<p>こもろ愛のりくんのターミナル（乗り換え場所・待合室）は、現在、相生町商店街に設けていますが、駐車場所がなく、安全で円滑な運行に苦慮しています。</p> <p>今後、こもろ愛のりくんの利用促進を図る上でも、駐車場所が確保されたターミナルが必要となっております。</p> <p>なお、現在のターミナルは小諸駅に近接はしていますが、小諸駅も乗降場所となっております、今後も継続する予定です。</p>
3	一般タクシーの乗り入れも検討してほしい。（福祉タクシーの検討も）	いただいた意見も踏まえ、設計段階で検討を行います。
4	高齢者の利便性を考慮した駐車場に。	駐車場につきましては、利便性について多くのご意見をいただいております、駐車場内の相互通行や歩行者通路を設けるなど、利便性が高まるよう検討を進めてまいります。
5	立体駐車場は大変不便である。	<p>既存の市営立体駐車場につきましては、利用者の方から、分かりづらい等の意見をいただいた中で、改善を進めてまいりました。</p> <p>複合型中心拠点誘導施設に設置する公共駐車場につきましては、利便性について多くのご意見をいただいております、駐車場内の相互通行や歩行者通路を設けるなど、利便性が高まるよう検討を進めてまいります。</p>
6	複合施設になぜ公共駐車場をつく	施設には市内の方のみならず、市外の方にも来ていただ

	るのか。(必要ないのでは)	くことを想定しています。そのためには、公共交通利用者のみならず、自家用車の利用者のことも考慮する必要があり、公共駐車場の確保が必要となります。
7	是非 24 時間営業にしてほしい。	施設利用時間にあわせた運営形態を想定しています。
8	JA 利用者も利用できるようにしてほしい。	基本的には、複合型中心拠点施設及び J A 佐久浅間小諸支店様、それぞれに駐車場を利用いただくものと考えておりますが、イベント等の開催時に融通できるような駐車場利用について、J A 佐久浅間様と話し合いを行ってまいります。
9	相生町側からの歩道の整備を。	ご指摘のとおり、安全で利便性の高い歩道設置は必要と考えており、関係機関である県公安委員会、地権者とも協議を行い、道路設計に配慮してまいります。
10	ツルヤ前の道路の一方通行の解除に伴う改良を。	ご指摘の市道 1001 号線につきましては、市庁舎地下にある市営第 1 立体駐車場及び隣接する市営第 2 立体駐車場に通じる重要な道路ですが、一部区間が一方通行であることは、大きな課題であると考えております。 一方通行の解除に向けては、関係機関である県公安委員会、地権者とも協議を行い、検討を進めてまいります。
11	太陽光発電の設置を。	いただいた意見も踏まえ、設計段階で検討を行います。
12	バリアフリー化を。	様々な世代の皆さんが利用する施設となるため、バリアフリーを前提とした施設設計を行います。
13	なぜ商業施設はツルヤなのか説明が足りない。 納得感が持てない説明ではないか。	充実した商業施設とするためには、日用品や生鮮食料品などが揃うスーパーマーケットが最適であると考えます。スーパーの誘致にあたっては、集客力が高く、継続的な営業が可能な事業者が相応しいと考えますが、ツルヤは小諸市に本社を置く事業者であるとともに、小売業では県内トップのブランド力、集客力を持つ優良企業であり、誘致するには最適な事業者であると考えます。
14	相生町商店街のにぎわいをどう進めるのか先に考えるべき。	ツルヤの一時休業により、実際に多くの方が買い物に不便を感じており、周辺の商店街を始め小諸市の経済への影響も大きいことから、再出店に向けた協議は早急に進める必要があります。また、商店街のにぎわい創出も欠かせない課題であるため、どちらが先ではなく、併せて取り組んでいく必要があると考えます。
15	ツルヤは再出店につき、どう考えているのかわからない。	企業として再出店を決定するまでには至っていませんが、昨年 1 2 月には再出店に向けて市と協議を行うことについて、覚書を締結しており、現在、店舗レイアウトや契約等の条件について協議を進めているところです。

16	将来中心部はようになっていくと予想しているのか、またどうしたいのか、それは現実的か。	中心市街地が活性化することは、市域全体の地域振興につながるものと考えています。また、多極ネットワーク型コンパクトシティの理念の下、街中の都市機能を充実することで、市域全体の利便性を高めるというメリットがあると考えております。
----	--	--

2 その他（公共交通、駐車場）

	意見・要望	市の考え方（回答）
1	愛のりくんのドア to ドアの充実を。（小型化を検討してほしい）	市内には、狭い道路も多く、自宅まで車が入れない場合もあり、利用者の皆さまにご不便をおかけしているところもあります。 一方、車両の小型化につきましては、乗車人員に限りが出ることから、増車等の費用面での課題もあり、慎重に検討してまいります。 引続き、皆さまのご意見、ご要望をいただきながら、利便性の高い公共交通となるよう進めてまいります。
2	市役所・病院・新施設間での駐車場の取り合いにならない対策を。	いただいた意見も踏まえ、既存の立体駐車場及び新施設の駐車場を含めた、駐車場全体の運営計画について検討を行います。 なお、既存の立体駐車場につきましては、平日の午前中を中心にピークがあり、新施設につきましては、スーパーマーケットがあることから、夕方に向けてピークがあるものと想定しています。
3	駅前市営駐車料金が民間駐車場料金より高い理由は何か。	市営小諸駅駐車場の使用料金につきましては、平成30年4月1日に改定し、送迎など30分以内の利用を無料とすることで、多くの皆さんに利用いただくようにする一方、長時間の利用については、近隣市町を参考とした使用料に設定したものです。
4	141号入口に信号機の設置を。	ご指摘のとおり、安全で円滑な車両通行にあつては、信号機の設置は重要であると考えております。 信号機の設置を含め、交差点の改良については、関係機関である県公安委員会と協議をおこない、設計を進めてまいります。なお、信号機の設置区間につきましては、一定の距離以上を設けることとなっています。
5	複合施設に係る駐車料金は無料化に。	複合型中心拠点誘導施設に設置する公共駐車場につきましては、利便性について多くのご意見をいただいております。利便性が高まるよう、駐車場の運営計画を検討します。 また、駐車料金につきましては、テナント事業者等の運営事業者からの費用負担を含め協議を進めてまいりま

		す。
6	愛のりくんの料金を無料化に。(料金値下げの検討を)	<p>高齢者の方を中心に公共交通利用へ、できる限り移行していただくためには、高齢者を対象とした運賃の割引は有効であると考えております。</p> <p>ただし、全体経費に対する運賃収入の割合が、平成28年度では15%と決して高い数字ではないことや、運行人員や車両台数の増加などの経費の課題、更にはタクシー事業者等交通事業者への圧迫の懸念などもあることから、慎重に見極めていく必要があります。</p> <p>市議会や運行事業者、関係機関とも相談をさせていただきながら、慎重に検討を進めてまいります。</p>
7	スマイレ号の復活を。	<p>予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」は、高齢化社会の進展や、市民ニーズに対応するため、運行を開始し、利用いただいている方からも、好評をいただいております。</p> <p>一方、ご指摘のとおり、定時に運行されるバス利用への要望もいただいております。</p> <p>そこで、皆さまのご意見、ご要望をいただきながら、望ましい公共交通の将来像を検討してまいります。</p>
8	定時定路線の夕方便の増発を。土日休日の営業も。	<p>定時定路線バス「愛のりすみれ号」は、通学利用を主としているため、現在は土日の運行はしておらず、夕方の便につきましても運行人員及び運行車両の都合上、増便が難しい状況です。なお、予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」は、土曜日にも運行をしています。</p> <p>今後につきましては、皆さまのご意見、ご要望を聞きながら、望ましい公共交通の将来像を検討してまいります。</p>
9	満空表示のあることの周知が不足している。	<p>市営集約駐車場の第1、第2、第3駐車場を表している広域満空表示については、相生町通りに2カ所、赤坂通りに2カ所設置し、テレビ版広報等でお知らせしてまいりました。今後とも、適宜広報に努めてまいります。</p>
10	病院利用者への利便性の改善を。(患者と駐車までのタイムラグ)	<p>病院利用者の駐車場は集約駐車場(第1、第2、第3駐車場)を利用いただいております。この集約駐車場につきましては、供用後、多くの利用者の方から利便性についてのご意見をいただいたため、案内看板、誘導表示等により改善をしてきました。</p> <p>今後も適宜、利便性について改善を進めてまいります。</p>
11	南大井便復活への再考を。佐久平への運行便を。	<p>定時定路線バス「愛のりすみれ号」の御影線につきましては、月平均乗降者数が4人程度と極めて少ないことか</p>

		<p>ら、平成 29 年度に廃止に至ったものです。</p> <p>また、佐久市へ通じる路線バスにつきましては、千曲バスが「佐久上田線」を運行しており、小諸市を含む沿線市、国、県が運行支援を行っていることから、利用促進を進めるものです。</p> <p>一方、ご指摘のとおり、「こもろ愛のりくん」での佐久市への乗り入れのご要望もいただいていることから、ニーズを見極めながら、運行事業者や関係機関と話し合いを行ってまいります。</p> <p>今後とも、皆さまのご意見、ご要望を聞きながら、望ましい公共交通の将来像を検討してまいります。</p>
--	--	--

資料4 小諸市市民活動・ボランティアサポートセンターに関する要望に対する
市の考え方

要望書受理 平成30年1月26日

要望書提出者 ボランティア有志の会 代表者 田中たま子 様

要望の要旨	市の考え方（回答）
基本計画策定にあたって、現在、小諸市三和に設置されている「小諸市市民活動ボランティアサポートセンター（ぼらせんこもろ）」を、新公共施設に移転設置されるよう要望する。	ボランティア事業への理解を広め、新たな担い手の輩出・育成のため、複合型中心拠点誘導施設内に移転整備します。

要望書受理 平成30年3月30日

要望書提出者 小諸市市民活動・ボランティアセンター運営委員会

委員長 山内 俊江 様

要望の要旨	市の考え方（回答）
ボランティア有志の会の皆様同様、「小諸市市民活動ボランティアサポートセンター」を新公共施設に移転設置されるよう要望する。 移転設置先は、バリアフリーであること、駐車場等のスペースが十分確保されていることを望む。	ボランティア事業への理解を広め、新たな担い手の輩出・育成のため、複合型中心拠点誘導施設内に移転整備します。 この施設は、ハード面においても、様々な皆さんが利用しやすい施設となるよう努めます。

資料5 中心市街地整備についての提案書に対する市の考え方

提案書受理 平成 29 年 12 月 28 日

提案書提出者 小諸商工会議所 まちづくり特別委員会

委員長 佐藤 英人 様

提案の要旨	市の考え方（回答）
<p>中心市街地を7つにゾーニングし、特徴づけして整備することで、全体の魅力向上を図る。</p> <p>市役所周辺から国道141号辺りまでを「生活利便施設ゾーン」とし、ここには、市役所、図書館、総合病院といった中心拠点が完成しているが、さらに福祉施設と商業施設の複合施設を構築し、都市の利便性の向上を図る。また、相生町通りから赤坂までの道路と市役所から国道141号までの道路整備を推進する。</p>	<p>「多極ネットワーク型コンパクトシティ」を進める事業の一環として今回計画している複合型中心拠点誘導施設は、福祉施設、商業施設、コミュニティバスターミナル、公共駐車場からなる複合施設で、都市全体の利便性を高めるものです。</p> <p>この施設は、少子高齢化や生産年齢人口の減少が加速する中で、これからの小諸市の10年・20年先を見据えた時に必要な施設であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものと考えますので、計画的に、また、着実に整備を進めます。</p> <p>市役所から国道141号までの道路（市道1013号線）につきましては、今回の事業の中で整備を予定しています。</p> <p>相生町通りから赤坂までの道路（市道1001号線）につきましては、市庁舎地下にある市営第1立体駐車場及び隣接する市営第2立体駐車場に通じる重要な道路ですが、一部区間が一方通行や幅員の狭さなど大きな課題であると考えております。これについては、関係機関である県公安委員会、地権者とも協議を行い、検討を進めてまいります。</p>

資料6 糠塚園利用者アンケートでの主な意見・要望に対する市の考え方

意見・要望	市の考え方（回答）
<p>(1) 現在地で建替えしてほしい。</p>	<p>「高齢者福祉センター」は、開設から45年が経過しているため、老朽化が進み、再構築が課題となっています。再構築にあたっては、自然環境を兼ね備えた場所も望まれますが、高齢化社会に対応した、一度の外出で様々な日常の用事を済ませることができる“利便性の高い場所”の方が、よりメリットが大きいことから、今構想において中心市街地での整備を目指すこととしました。</p> <p>「高齢者福祉センター」の入る新施設は、今後さらに加速する少子高齢化や生産年齢人口の減少を見越した、これからの小諸市のまちづくりに必要な施設であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものであると理解しています。ご期待に応えるよう、計画的に、着実に事業を進めます。</p>
<p>(2) 早く新しい風呂やスーパーをつくってほしい。小諸市民として発展する。利用しやすい。</p>	<p>これまでと同規模の浴室を整備する予定です。</p> <p>多くの方から、買い物に大変不便をしているという声が届いています。併せて、本事業を早く進めてほしい旨のご要望もいただいていますので、迅速に事業を進めてまいります。</p>
<p>(3) お風呂を特に望みます。</p>	<p>これまでと同規模の浴室を整備する予定です。</p>
<p>(4) ここに建て直してほしいですが、市の都合で他に移ってもしかたないですが、なくさないでほしいです。</p>	<p>「高齢者福祉センター」の入る新施設は、今後さらに加速する少子高齢化や生産年齢人口の減少を見越した、これからの小諸市のまちづくりに必要な施設であり、市の中心部だけでなく市域全体にメリットをもたらすものであると理解しています。ご期待に応えるよう、計画的に、着実に事業を進めます。</p>
<p>(5) 絵画を続けていきたいと思います。</p>	<p>移転先の新施設におきましても、これまで同様の利用ができるようにします。</p>
<p>(6) 高齢者にとって無料の講習は大変助かりますので、場所はどこでも良いので続けさせて頂きたい。絵は特にお願い致します。</p>	<p>移転先の新施設におきましても、これまで同様の利用ができるようにします。</p>

<p>(7) 新施設は、20名程がゆっくり利用出来る部屋が欲しいです。</p>	<p>移転先の新施設におきましても、これまで同様の利用ができるようにします。</p>
<p>(8) 駐車スペースを十分確保して下さい。</p>	<p>移転先の新施設には、公共駐車場が併設されており、十分なスペースを確保する予定です。</p>
<p>(9) フラダンス、ダンス等の練習可能なスペース希望です。</p>	<p>移転先の新施設におきましても、これまで同様の利用ができるようにします。</p>
<p>(10) 入浴できる施設と入浴後にちょっと休むことができる場所を設けてほしい。</p>	<p>移転先の新施設におきましても、これまで同様の利用ができるようにします。</p>
<p>(11) 何かイベントを開く時にも、安く借りられる(格安)で、ちょっとしたステージ式の物をお願いしたいと思います。誰でも気軽に入れる様な施設をお願いします。</p>	<p>誰でも利用しやすい施設となるよう工夫します。常設のステージは難しいと考えていますが、簡易的なステージ式の物については、今後の検討とさせていただきます。</p>

資料7 「複合型中心拠点誘導施設」整備構想の再考を求める会の要望書に対する市の考え方

要望書受理 平成30年5月30日

要望書提出者 「複合型中心拠点誘導施設」整備構想の再考を求める会

代表 片山 毅 様

要望の要旨	市の考え方（回答）
<p>市の事業計画においては、小諸市自治基本条例に基づき、市民への情報公開・説明責任・市民協働を果たし、市民不在とならない事をより一層徹底すること。</p> <p>未来の小諸に生きる若者達のために小諸市が財政破綻の危機を招くことのないよう、将来を見据えた施設整備に努めること。</p>	<p>複合型中心拠点誘導施設基本計画の策定にあたっては、市民説明会やパブリックコメント等により、今後も市民の皆様への情報公開・説明責任等を果たすよう努めます。</p> <p>複合型中心拠点誘導施設整備にあたっては、今後も長期的な視野に立ち、事業内容等をよく精査し、将来にわたり健全財政を維持してまいります。</p>